

第6次吉田町総合計画前期基本計画
進捗管理報告書



令和7年11月

吉田町

○ この報告書について

当町では、令和6年度（2024年度）から、将来都市像“豊かで活気にあふれ 心を魅了するまち 吉田町”とした第6次吉田町総合計画をスタートさせました。

第6次吉田町総合計画前期基本計画が始まって1年が経過し、この計画の着実な推進を図るため、第6次吉田町総合計画前期基本計画に掲げた主要施策の定期的な進捗管理を行っていくことが、将来都市像の達成及び前期基本計画の推進のために必要であることから、この報告書を作成します。

1 将来都市像

豊かで活気にあふれ 心を魅了するまち 吉田町

2 評価の方法

(1) 目標値の設定

第6次吉田町総合計画前期基本計画では、計画最終年度（令和9年度）のみ目標値を明記していますが、この報告書では進捗状況を把握するため、各年度の目標値を設定し、評価しています。

各年度の目標値を設定することで、実績値を増加（減少）させていく成果指標や、実績値を維持していく成果指標など、各指標の性質や計画最終年度に向けた実績値の進捗状況を明確にしています。

(2) 内部評価（吉田町ステップアップシートの活用）

吉田町まちづくりステップアップシートに記載された第6次吉田町総合計画前期基本計画作成時に設定した、7つの施策の大綱ごとに掲げられている分野の主な目標について、令和6年度の実績による達成状況に対し、吉田町行財政構造改革推進本部を開催し、内部評価を行いました。

(3) 外部評価（吉田町総合計画等審議会）

内部評価の結果について、吉田町総合計画等審議会において主に以下の観点から意見を伺いました。

① 各施策の目標値の達成度評価や現状の把握・分析内容が妥当であるか。

【内部評価の妥当性】

② 評価結果を踏まえた各施策の今後の取組の方向性は適切か。

【施策の方向性の適切性】

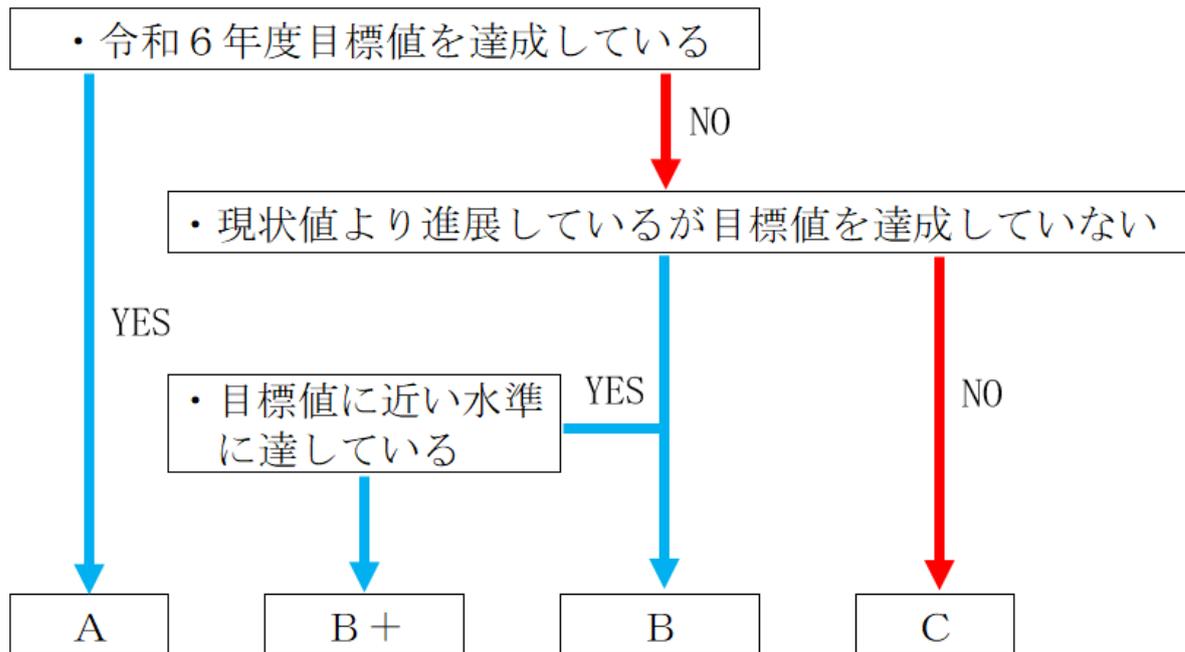
③ 今後の計画や目標値の設定方法に修正すべき点はないか。

【計画・目標値の修正の必要性】

審議会において上記の観点を中心に意見をいただき、必要がある場合には、修正を行った上で本進捗管理報告書を作成しました。

4 分野の主な目標に対する評価について

(1) 第6次吉田町総合計画前期基本計画「目標値に対する評価」の考え方について



(2) 章ごとの達成状況

前期基本計画の7つの柱	A	B		C	指標合計
		B+	B		
【第1章】災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり	8	2	0	1	11
【第2章】豊かな自然と共生するまちづくり	7	1	1	1	10
【第3章】活力と魅力あふれる産業振興のまちづくり	8	0	2	4	14
【第4章】多様な人々が快適に暮らせるまちづくり	8	2	6	3	19
【第5章】誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり	19	0	3	3	25
【第6章】次代を担う心豊かな人を育むまちづくり	4	2	5	2	13
【第7章】行政と住民が一体となって取り組むまちづくり	7	0	1	0	8
全 体	61	7	18	14	100

(3) 分野の主な成果指標一覧

指標 No.	実施計画の主な目標	A	B		C
			B+	B	
【第1章】 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり		8	2		1
			2	0	
1	レベル2の津波防潮堤の整備率	○			
2	吉田町地域防災指導員養成講座の受講者数（平成25年度からの累計）		○		
3	吉田町LINE公式アカウントの友だち登録者数	○			
4	治水対策新規事業着手の箇所数（累計）	○			
5	治水施設のパトロール回数	○			
6	高齢者を対象とした交通安全教室への参加者人数（累計）		○		
7	道路区画線の更新距離（累計）	○			
8	青色防犯パトロール回数	○			
9	消費生活相談対応率	○			
10	静岡地域消防救急広域化により現場到着時間の短縮が図られた件数	○			
11	消防団員数				○
【第2章】 豊かな自然と共生するまちづくり		7	2		1
			1	1	
12	耐震化済み基幹管路（導水管・送水管・配水本管）の延長	○			
13	水道事業会計における経常収支比率 （営業収益+営業外収益） / （営業費用+営業外費用）	○			
14	下水道処理人口普及率		○		
15	水洗化率	○			
16	浄化槽処理人口普及率	○			
17	不法投棄物回収率	○			
18	環境学習参加者数（累計）	○			
19	公害関連法等に基づく適正な事務処理実施率	○			
20	1人1日当たりの可燃ごみの排出量			○	
21	公共施設における温室効果ガス年間排出量				○

指標 No.	実施計画の主な目標	A	B		C
			B+	B	
【第3章】活力と魅力あふれる産業振興のまちづくり		8	2		4
			0	2	
22	ふじのくにフロンティア推進エリアにおける新拠点区域整備率	○			
23	新婚生活応援補助金交付件数（累計）	○			
24	吉田カムカム補助金交付件数				○
25	吉田町国土利用計画に基づく適正な土地利用の進捗率	○			
26	認定農業者等への農地集積率			○	
27	大井川用水施設（水門等）の適正な管理率	○			
28	荒廃農地面積				○
29	吉田漁港多目的広場を活用したイベント開催回数（累計）	○			
30	漁港施設の長寿命化計画の更新				○
31	小口資金利子補給金交付率	○			
32	観光交流客数			○	
33	産業振興事業補助金（新規創業事業）の交付件数（累計）	○			
34	企業進出件数（累計）				○
35	合同企業説明会参加企業数（累計）	○			
【第4章】多様な人々が快適に暮らせるまちづくり		8	8		3
			2	6	
36	空き家バンク制度の利用登録件数（累計）	○			
37	花いっぱい活動団体数			○	
38	西の宮雨水幹線の整備率	○			
39	町営住宅大規模修繕棟数（累計）				○
40	緑化イベント参加者数				○
41	公園施設定期パトロール回数	○			
42	能満寺山公園駐車場整備率			○	
43	保安林の面積の維持	○			
44	大幡川幹線（未整備区間）の事業全体における進捗	○			
45	生活道路の新規事業着手の箇所数（累計）			○	
46	舗装修繕の実施距離（累計）		○		
47	橋梁点検数	○			
48	町内バス停の乗降者数	○			
49	自治会への加入率				○
50	コミュニティ活動支援件数（累計）			○	
51	日本語教室等の実施回数		○		
52	審議会等委員に占める女性の割合			○	
53	人権啓発活動（人権教育講演会、人権を守る会）参加者数			○	
54	公共施設におけるユニバーサルデザイン化実施箇所数（累計）	○			

指標 No.	実施計画の主な目標	A	B		C
			B+	B	
【第5章】誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり		19	3		3
			0	3	
55	地域のイベントで健康づくりに関するコーナーを設けている数			○	
56	高血圧有病者の割合(40歳～74歳)				○
57	麻疹風しん予防接種(第2期)接種率				○
58	妊娠出産等応援助成事業を利用した者の割合	○			
59	住民に対する減塩推進普及活動	○			
60	内科診療所数	○			
61	2次医療圏での救急医療体制数	○			
62	医療救護訓練実施回数	○			
63	ワンストップ相談窓口での相談対応率	○			
64	社会福祉協議会によるボランティア人材登録者数				○
65	民生委員・児童委員の相談対応率	○			
66	国民年金保険料の納付率	○			
67	国民健康保険被保険者の特定健康診査受診率			○	
68	後期高齢者医療制度被保険者の健康診査受診率			○	
69	介護保険事業への繰出金の適正な事務執行率	○			
70	行旅人及びホームレスに対する措置費の適切な執行	○			
71	子育て支援センター利用者数	○			
72	保育所の待機児童数	○			
73	放課後児童クラブの待機児童数	○			
74	児童虐待防止対策におけるネットワーク強化を図るための会議の開催数	○			
75	要介護認定率(調整済認定率)	○			
76	高齢者見守りネットワーク登録事業所数	○			
77	障害者自立支援施設の適切な運営	○			
78	障害福祉サービスを必要とする人へのサービス提供率	○			
79	福祉施設に対する負担金の支出	○			

指標 No.	実施計画の主な目標	A	B		C
			B+	B	
【第6章】次代を担う心豊かな人を育むまちづくり		4	7		2
			2	5	
80	幼児教育カリキュラムに基づく幼児教育の実施率 (実施園/町内の幼稚園・保育園数)	○			
81	児童生徒1人1台端末の稼働率	○			
82	全国学力・学習状況調査の県平均正答率以上の科目数の割合				○
83	児童生徒の健康診断の受診割合			○	
84	地域教育推進事業に携わるボランティア数	○			
85	笑顔いっぱい運動スタッフベスト配布枚数(平成16年度からの累計)		○		
86	生涯学習教室開講教室数				○
87	学習ホール長寿命化計画の策定	○			
88	図書館来館者数			○	
89	芸術文化振興事業の参加者数			○	
90	文化財パトロールの実施		○		
91	総合体育館利用者数			○	
92	各種大会、スポーツ教室等への参加人数			○	
【第7章】行政と住民が一体となって取り組むまちづくり		7	1		0
			0	1	
93	吉田町まちづくりステップアップ行政評価による点検実施率	○			
94	新規採用職員の確保	○			
95	実質公債費比率	○			
96	証明書のコンビニ交付の利用率			○	
97	行政手続きなどに係るオンライン利用件数	○			
98	個人情報の流出・紛失事故件数	○			
99	ソーシャルネットワークサービス(SNS)フォロワー数	○			
100	お問合わせフォームの対応率	○			

5 基本目標ごとの具体的な取組

◆ 基本理念 1

安全で安心して住み続けることができる まちづくり

◆ 第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり

確固たる安全の下、「子育て」「教育」「健康づくり」といった「支える安心」を提供するため、「津波防災まちづくり」を進めるとともに、南海トラフ巨大地震や激甚化、頻発化する自然災害への対策として、耐震対策、治山治水対策などを進め、住民が不安なく日々の暮らしを営むための対策を充実することで、災害に強く安全・安心に暮らせるまちを目指します。

【分野(1) 地震・防災対策】主な成果指標

指標No. 1 レベル2の津波防潮堤の整備率

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
47%	47%	60%	80%	100%	A	防災課
	47%					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度からの住吉工区防潮堤整備事業着手に向けて、地元への情報発信や国、県等の関係機関と調整を行った。 「吉田町地域防災計画」「吉田町水防計画書」について、県計画と整合を図りながら更新を行った。 防潮堤等川尻エリア（川尻防潮堤、河川防災ステーション、水防センター、川尻防潮堤側道1号線他）において、（一社）吉田町まちづくり公社との連携を図り、より適正な管理と良好な景観を維持することができた。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 防潮堤（住吉工区）整備着手に向け、関係機関による「静岡モデル整備に関する打合せ」を実施し、国、県、町で整備に関する確認書を締結した。 用地買収を実行していくため、工作物等の用地調査、不動産鑑定の実施及び地権者、耕作者との交渉を進めていく。 					

指標No. 2 吉田町地域防災指導員養成講座の受講者数（平成 25 年度からの累計）

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
	令和 4 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
195 人	235 人 228 人	255 人	275 人	295 人	B ⁺	防災課
令和 6 年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 「静岡県ふじのくに防災士養成講座」を活用した地域防災指導員養成講座を会場受講方式及びオンライン視聴方式で開催し、自分の地域は自分で守ることを目指し、行動する「地域防災指導員」の養成を行った。 地域防災指導員養成講座のほか、男女共同参画をテーマに男女それぞれの視点から考えた避難所運営について考える「防災講演会」や、家庭及び将来の地域の防災リーダーとなる人物を養成するための「ジュニア防災士養成講座」を開催した。 <p>【吉田町地域防災指導員養成講座（静岡県ふじのくに防災士養成講座）参加実績】 18 名</p>					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 地域防災指導員養成講座の WEB 受講・合同受講を開催し、地域における防災リーダーの育成を図った。 住民や関係団体等の防災意識の向上を図るため、地域防災指導員養成講座、ジュニア防災士養成講座、防災講演会、防災出前講座等の防災・減災に対する意識啓発活動を継続していく。 					

指標No. 3 吉田町 LINE 公式アカウントの友だち登録者数

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
	令和 4 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
7,084 件	9,000 人 10,013 人	10,000 人	11,000 人	12,000 人	A	防災課
令和 6 年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> みどりのオアシスマつり、イベント伝、小山城まつり等において、よしだ防災メール、町公式 LINE の登録促進を行った。 同報無線により情報配信された内容を閲覧できるよう、よしだ防災メール及び町公式 LINE 等との連携と SNS を活用した情報伝達手段を推進し、情報伝達の多重化を図った。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 小山城まつり等のイベントや出前講座などの場において、よしだ防災メール及び町公式 LINE の登録促進を図り、防災情報の周知に努めたことにより、登録者数が増加した。 引き続き、町公式 LINE 等の SNS を活用し、防災情報伝達の多重化と利便性の向上を図っていく。 					

【分野(2) 治山治水対策】主な成果指標

指標No.4 治水対策新規事業着手の箇所数(累計)

現状値	目標値(上段) / 実績値(下段)				目標値に対する評価	担当課
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	建設課
1箇所	2箇所	4箇所	5箇所	6箇所		
	3箇所					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 大雨等に備え河川の流下能力を確保するため、緊急浚渫推進事業計画に基づき、普通河川神戸川や準用河川大幡川等の浚渫工事を実施した。 「吉田町湯日川流域治水対策計画」に基づき、各河川個別の整備に着手するための準用河川稲荷川及び神戸都市下水路・普通河川神戸川の将来計画を作成した。 <p>【治水対策新規事業着手の実績】 宮裏川(第3号ポンプ整備工事)、稲荷川(排水計画策定業務)、神戸川(排水計画策定業務)</p>					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 計画的にハード整備を進めることができた。 引き続き、「吉田町湯日川流域治水対策計画」等に基づき、治水対策を推進していく。 					

指標No.5 治水施設のパトロール回数

現状値	目標値(上段) / 実績値(下段)				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	建設課
52回/年	52回/年	52回/年	52回/年	52回/年		
	53回/年					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 農業用水取水のための町内の排水機場、ポンプ、河川の樋門や水門等の施設の点検を週1回程度実施した。特に出水期は大雨等に備えるため排水機場の動作確認等を月1回程度実施した。 安定的に農業用水を供給するため、排水機場や水門等を適切に維持管理した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 農業用施設のパトロールや修繕を実施したことで、農地の効率利用を推進することができた。 引き続き、農業用施設の点検サイクルを構築し、定期的なパトロールを実施していく。 					

【分野(3) 交通安全対策】主な成果指標

指標No.6 高齢者を対象とした交通安全教室への参加者人数(累計)

現状値	目標値(上段) / 実績値(下段)				目標値に対する評価	担当課
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	B+	防災課
30人	110人	190人	270人	350人		
	96人					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 町民の交通安全意識を高めるため、小学生や高齢者向けの交通安全教室を実施した。 交通事故を抑止し地域住民の交通安全意識の向上を図るため、交通安全運動期間及び交通事故ゼロの日を中心に交通安全指導や広報活動を実施した。 令和7年1月1日午前0時をもって、交通死亡事故ゼロ連続500日を達成したことから、静岡県交通安全対策協議会から交通安全功労者団体表彰を受けた。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 関係各課や各交通安全関係団体と協力し、小学生や高齢者の交通安全教室等の実施や街頭広報を実施したことで、町民の交通安全意識を高めることができ、令和6年度の人身事故件数は87件で前年度より45件減少した。 交通安全教室等の実施により、小学生や高齢者に対して交通安全に関する指導・啓発を行っていく。 					

指標No. 7 道路区画線の更新距離（累計）

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	建設課
3.7 km	8.5 km 16.6 km	10.9 km	13.3 km	16.0 km		
令和6年度の取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全対策を講ずるため、「吉田町子供の移動経路に関する交通安全プログラム」に基づく合同点検で把握した危険箇所、土木事業等要望箇所調書により地域から要望のあった箇所、道路パトロールにて危険を把握した箇所、幹線道路等について、区画線、防護柵等を施工した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 「子供の移動経路に関する交通安全プログラム」に基づいた合同点検で対策が必要とした危険箇所について、着実かつ効果的に子供を守る交通安全対策を推進するため、区画線の復旧及び防護柵などを整備していく。 					

【分野(4) くらし安全】主な成果指標

指標No. 8 青色防犯パトロール回数

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	防災課
65回/年	95回/年 108回/年	110回/年	125回/年	140回/年		
令和6年度の取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 被害の未然防止や犯罪に対する抑止効果を高めるため、関係各課や自治会等とともに定期的に町内パトロールを実施した。 更なる犯罪抑止につなげるため、北区自治会と連携し、吉田インター前駐輪場の自転車無施錠調査及び防犯指導（自転車施錠（ツーロック）の呼び掛け）を実施した。 「吉田町犯罪被害者等支援の連携協力に関する協定」を静岡犯罪被害者支援センター及び牧之原警察署と締結し、きめ細やかな犯罪被害者等支援が行えるようにサポート体制を整えた。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 青色防犯パトロール実施者証の講習を行い、実施者証の保有者数を増やしたことで、青色防犯パトロールに従事できる人数を増加させ、パトロール回数も増加した。 警察署から寄せられた不審者情報を共有し、町民への情報提供を迅速に行ったり、青色防犯パトロールの実施回数を増やしたりすることで、防犯環境を整備していく。 					

指標No. 9 消費生活相談対応率

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	産業課
100%	100% 100%	100%	100%	100%		
令和6年度の取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 消費者トラブルの解決へとつなげるため、専門的な知識を有する相談員が対応する消費生活相談を実施した。 町広報紙、町ホームページ、チラシ等を活用し啓発活動を行い、若者の消費者教育・高齢者の消費者被害の防止に努めた。 <p>【消費生活相談の対応実績】 59件</p>					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 専門的な知識・経験を持つ消費生活相談員を雇用し、消費生活相談を実施したことで、相談案件に対して的確なアドバイスをするとともに、相談対応率を維持することができた。 消費生活相談員の相談業務向上を目的とした新たな相談業務システムを導入していく。 					

【分野 (5) 消防・救急】 主な成果指標

指標No.10 静岡地域消防救急広域化により現場到着時間の短縮が図られた件数
(管轄区域に関係なく災害現場に最も近い消防隊等が出動した件数をカウント)

現状値	目標値 (上段) / 実績値 (下段)				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	防災課
29件/年	29件/年 35件/年	29件/年	29件/年	29件/年		
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・消防の広域化により、従来の管轄を超えて近隣署所と連携した出動が実施できたほか、現場活動要員の増強により迅速な対応が可能となった。 ・政策的経費により、消防車両の更新やオーバーホール修繕、消防総合情報システムの更新に伴う消防局庁舎改修工事を実施した。 <p>【吉田消防署の出動回数実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 火災出動回数…13件 (うち町内：9件) 救急出動回数…2,169件 (うち町内：1,109件) 救助出動回数…26件 (うち町内：10件) 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年4月1日から運用を開始した消防救急広域事業は、9年が経過し円滑に運用され、事業の効果も定着してきている。 ・広域化によるスケールメリットを持続的に活かし、「常に変化に対応し、住民の期待に応える消防」を目指していく。 					

指標No.11 消防団員数

現状値	目標値 (上段) / 実績値 (下段)				目標値に対する評価	担当課
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	C	防災課
120人	122人 119人	124人	126人	150人		
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・消防長官表彰「永年勤続功労賞」の対象者…1人 ・消防団員が安心して消防防災活動を行うため、消防団員退職報償金負担金及び消防団員福祉共済掛金を負担し公務災害等に対する補償を充実させた。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで地域のつながりや団員同士の勧誘により団員数を確保していた。今後は、町内事業者や吉田町消防団協力事業所表示証交付制度や県が実施している事業税の優遇措置を広く周知することにより、新たな団員確保につなげる必要がある。 ・国の指針に準じた退職報償金の支給、公務災害補償、消防団員の福祉共済への加入を継続することで、団員の福利厚生を充実を図っていく。 					

第1章：災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくりにおける進捗状況・今後の展望

- ・津波防災まちづくりの1丁目1番地である、1000年に一度のレベル2クラスの大津波から町を守るため、「全周防御」の構築を進めています。令和7年度からは、住吉海岸防潮堤の盛土工事に着手し、安全を提供することができるよう事業を推進していきます。
- ・集中豪雨等により町内各地で頻繁に発生している浸水被害に対応するため、宮裏川河口部に設置している第3号ポンプの増強に着手しており、令和7年度の工事完了を目指して進捗を図っていきます。
- ・消防救急広域化により、従来の管轄を超えて出動を行うことが可能となったほか、災害発生時に初動体制の時点で指揮隊による効果的な部隊編成が取れるようになり、現場活動が強化されました。更なる消防力強化のため、吉田消防署の適正配置について検討を進めていきます。

◆ 第2章 豊かな自然と共生するまちづくり

暮らしに欠かせない水道水の安定供給や良好な生活環境を創出するための水質の保全、そして、やすらぎと住みやすさを与えてくれる自然環境の保全を推進するとともに、循環型社会や脱炭素社会の形成を推進することにより、豊かな自然と共生するまちを目指します。

【分野(1) 上水道】主な成果指標

指標No.12 耐震化済み基幹管路（導水管・送水管・配水本管）の延長

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	上下水道課
21,216m	22,010m	22,650m	23,140m	23,660m		
	22,196m					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模自然災害に備えるため、基幹管路を耐震管に布設替した。また、漏水事故等による被害削減を図るため、他事業関連工事において老朽管を耐震管に布設替した。 ・水道施設の耐用年数を経過した水道施設設備等を更新し、水を安定供給するための整備を進めた。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業関連工事として布設替えを行ったことで、舗装などの土工費削減を図りつつ工事を実施することができた。 ・法定耐用年数を経過した管路を更新する老朽管布設替事業では、漏水事故・地下漏水等の無効水量を減らすために計画的に布設替を実施していく。 					

指標No.13 水道事業会計における経常収支比率

（営業収益+営業外収益）／（営業費用+営業外費用）

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	上下水道課
123.97%	110%以上	110%以上	110%以上	110%以上		
	120.54%					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・水道利用者に対して安全な水の安定供給に資するため、浄水場・配水池等の施設の維持管理、原水・浄水の水質検査、配水管の漏水修繕等を実施した。 ・漏水修繕18件、施設修繕5件、配水管等修繕4件及び「計量法」に基づく8年毎のメーター取替修繕を2,996件行った。 ・VP管約58kmを対象に漏水調査を行い、漏水を早期発見し修繕を実施した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・漏水調査や配水管、施設等の修繕を行い適切に維持することにより、水道施設の効率的な運用や安定した経営を行うことができた。 ・安心して飲用できる安全な水道水を安定的に供給するため、吉田町上水道事業給水条例や吉田町水道事業及び下水道事業会計規程、地方公営企業会計制度等に基づき、適正な事務を行うとともに、漏水調査や施設の適切な維持管理を行っていく。 					

【分野(2) 下水道・浄化槽・し尿処理】主な成果指標

指標No.14 下水道処理人口普及率

現状値	目標値(上段) / 実績値(下段)				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	B ⁺	上下水道課
38.6%	40.4%	41.0%	42.3%	43.0%		
	39.8%					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・供用開始面積を12.93ha拡大し、新たに下水道を利用できる世帯が61戸増加した。 ・未普及解消のための新たな管渠を666.70m布設した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道の普及促進のため、「吉田町公共下水道全体計画」及び「吉田町公共下水道事業計画」に沿って事業を実施することができた。 ・「ストックマネジメント計画」に基づき、下水処理施設の改築及び更新を実施していく。 					

指標No.15 水洗化率

現状値	目標値(上段) / 実績値(下段)				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	上下水道課
74.7%	76.7%	77.7%	78.7%	79.7%		
	78.4%					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した汚水処理を実施するため、吉田浄化センター及び汚水幹線マンホール内ポンプ維持管理等業務委託契約及びストックマネジメント計画に基づき、適切な管渠及び処理場の運転や維持管理をした。 ・サービスの充実と事業運営の効率化を図るため、吉田町上下水道事業収納事務等関連業務を委託した。 ・住民等に対して下水道事業への理解を深めるとともに、普及啓発や事業PRを図るため、浄化センター見学会や浄化センターの壁に絵を描くイベントを実施した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間に排出された98万4,960m³の汚水を安定的に処理し、利用者に支障を生じることなく安心して利用していただくことができた。 ・原油価格・物価高騰の継続が見込まれる中、業務集約や水洗化率向上に努め、経費縮減及び事業効率を図っていく。 					

指標No.16 浄化槽処理人口普及率

現状値	目標値(上段) / 実績値(下段)				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	上下水道課
44.8%	46.8%	47.8%	48.8%	49.8%		
	47.6%					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・生活排水による公共用水域の水質汚濁防止を図るため、「吉田町浄化層設置費補助金」を交付し、合併処理浄化槽設置事業を推進した。 <p>【吉田町浄化槽設置費補助金の交付実績】 134基</p>					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度と比較し、補助交付基数が増加したことで、生活排水による公共用水域の水質汚濁防止に寄与することができた。 ・「循環型社会形成推進地域計画」に基づき本事業を推進するが、特に、くみ取り槽及び単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を図っていく。 					

【分野 (3) 環境衛生】主な成果指標

指標No.17 不法投棄物回収率

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	都市環境課
100%	100%	100%	100%	100%		
令和6年度の取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄件数を減少させるため、定期的な河川や道路等の不法投棄パトロールをし、状況に応じて公園河川等公共用地の除草作業を実施した。 除草作業を効率よく実施するため、繁忙期に依頼が重なる一部を外部に依頼した。 <p>【不法投棄物の回収実績】 14件（令和5年度実績 21件）</p>					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 町内の定期的なパトロールや他課から依頼される除草作業を、年間通じて計画的に実施することができた。 引き続き、町内の環境保全の維持のため作業員による作業を行うが、作業員の高齢化が進んでいるため、公共用地等の草刈について業者委託等を検討していく。 					

指標No.18 環境学習参加者数（累計）

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	都市環境課
31人	81人	131人	181人	231人		
令和6年度の取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 第32回吉田町みどりのオアシスマつり及び生涯学習課主催のシニアカレッジにて、地域住民を対象に身近な自然とのふれあいや環境問題に対する理解を深めるための学習講座を開催した。 <p>【環境学習教室の参加者実績】 第32回吉田町みどりのオアシスマつり（園内の植物を観察しよう） 14名 シニアカレッジ①（ますます激しくなる気候変動への対応と私たちの暮らし） 29名 ②（地震、津波と火山噴火と防災を考えてみよう） 26名</p>					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 環境学習教室において、地球規模で起きている地球温暖化や気候変動等について、身近な環境問題をテーマに掲げることで参加者数増加につながった。 他課と協力しながら実施することで、環境に対する啓発事業の拡大を図っていく。 					

指標No.19 公害関連法等に基づく適正な事務処理実施率

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	都市環境課
100%	100%	100%	100%	100%		
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 各種法令等に基づく、特定施設の届出により、公害特定施設の把握、排出抑制物質の規制値の遵守の指導等を行い、公害抑制ができた。 【事務件数 実績】86件 (事務内容：公害防止関係届出件数 22件、公害関係特定施設等届出件数 54件、特定建設作業実施届出件数 10件) 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に環境分析調査等を実施することにより、町内環境を適切に把握することができた。数値の異常等が見受けられた場合は、緊急時環境分析調査を実施することで迅速に対応する。 適正な環境監視と公害発生源対策を推進するとともに、新たな環境問題については関係機関と連携するなどして的確な対応を進めていく。 					

【分野(4) ごみ減量・リサイクル】主な成果指標

1人1日当たりの可燃ごみの排出量

指標No.20

(目標値については「吉田町一般廃棄物処理基本計画(ごみ処理基本計画)」の目標値と同様)

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	B	都市環境課
756.08g	595.93g	591.99g	588.05g	584.11g		
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ごみ排出量を削減するため、リユース促進に向けて民間事業者と連携協定を締結し、不用品を捨てるのではなく売ることにより、循環型社会の形成を図った。 ごみ減量・リサイクル事業を推進していくに当たり、リサイクル率全国自治体1位の鹿児島県曾於郡大崎町への視察研修を実施し、吉田町におけるごみ減量推進のためのモデル地区として北区を選定の上、今後のごみ減量の推進のための検討に入った。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 補助制度を設けることで一般家庭から排出される生ごみ減量に資するため、生ごみ処理機器等購入費の一部助成し、家庭における生ごみの減量化、堆肥化によりリサイクルが推進された。 更なるゴミ減量やリサイクル率向上のために、ごみも有効な資源であるという意識啓発を図る必要がある。 先進地への視察研修を生かし、吉田町におけるモデル地区でのごみ減量事業を開始していく。 					

【分野 (5) 地球温暖化防止対策】 主な成果指標

指標No.21 公共施設における温室効果ガス年間排出量

(目標値については国の「地球温暖化対策計画」に基づく「政府実行計画」に準じて設定)

現状値	目標値 (上段) / 実績値 (下段)				目標値に対する評価	担当課
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
2,337 t-co2	2,266 t-co2 2,721 t-co2	2,198 t-co2	2,132 t-co2	2,068 t-co2	C	都市環境課
令和6年度の取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・町の環境施策の基本的な方向性を示し、社会情勢や環境の変化に適切に対応するため、町、町民、事業主が連携・協力して取組、環境・社会・経済のバランスがとれた持続可能な社会を実現していくための指針となる「第1次吉田町環境基本計画」を策定した。 ・公共施設の温室効果ガス年間排出量を削減するため、再生可能エネルギー導入可能性調査導入の検討を行った。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設における取組として全庁を挙げた具体的な取組内容を職員へ示す必要がある。 ・省エネルギー化や二酸化炭素排出量削減のための取組内容を示した「地球温暖化防止対策実行計画（事務事業編）」を策定する。 					

第2章：豊かな自然と共生するまちづくりにおける進捗状況・今後の展望

- ・水道事業は、生活を支えるライフラインを維持するための重要な役割を果たし、大規模災害の発生時においても被害を最小限に抑え、安定して供給することを目指しています。引き続き、基幹管路の耐震化や老朽管の更新をすすめていきます。
- ・連携協定を締結した民間事業所とともに、リユース促進によるごみ減量化の取組を進めています。また、自治会にも協力をいただき、各自治会館に衣類の回収ボックスを設置し、地域全体でリユース意識向上、廃棄物処理量の削減、循環型社会の形成を図っていきます。

◆ 基本理念 2

賑わいと魅力にあふれたまちづくり

◆ 第3章 活力と魅力あふれる産業振興のまちづくり

まちの魅力を高め新たな賑わいを創出することでたくさんの来訪者で賑わうまちを実現するとともに、既存産業の活性化や新産業の創出、雇用の拡大と安定化に取り組むことにより、活力と魅力あふれる産業振興のまちを目指します。

【分野(1) 賑わいづくり】主な成果指標

指標No.22 ふじのくにフロンティア推進エリアにおける新拠点区域整備率

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	企画課
0%	15%	40%	65%	100%		
	15%					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・吉田公園南側用地の整備については、国・県等との協議を行うとともに、国土交通省 PPP※¹サポーターのアドバイスを受けながら、商工会とのワークショップ、先行事例調査等を行い、前年度実現可能性の示されたローカル PFI※²を核とした事業推進を図るための課題整理及び具体的なスキーム案を検討した。 ・企業活動維持支援事業区域については、町が基盤整備を行った範囲において100%の企業誘致を達成済み。進出企業の現況を定期的に確認し、当該エリアにおいて順調に事業運営を継続できていることを確認できた。 ・吉田インターチェンジ周辺バスターミナル整備については、詳細設計を実施し、また、待合所やトイレ等建築物についての基本内容を整理した。 <p>※1 PPP：Public Private Partnership の略。公共施設等の建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的使用や行政の効率化等を図るもの。国土交通省では PPP サポーター制度を設けており、事業について豊富な実務経験や知識を有する方からの助言や派遣対応などの支援を受けることができる。</p> <p>※2 PFI：Private Finance Initiative の略。公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術能力を活用して行う手法。ローカル PFI は地域社会や地域経済への貢献に焦点を当て地域企業の参画や地域産材の活用、地域人材の育成を促進するもの。</p>					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と協議を行い詳細設計等を実施したことにより、各推進エリアについて新たな人流の創出に向けた事業進捗を図ることができた。 ・吉田公園周辺については、民間事業者の意見を踏まえて実施方針内容の修正を都度行うとともに、施設整備における要求水準について検討していく。 ・吉田インターチェンジ周辺バスターミナル整備については、財源等を考慮しながら段階的に用地を取得していく。 					

指標No.23 新婚生活応援補助金交付件数（累計）

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
9件	29件 30件	39件	49件	59件	A	企画課
令和6年度の取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・町内への移住及び定住を促進するため、「吉田町新婚生活応援補助金」について、住宅メーカーや企業等を通じ若年世帯に向けて周知した。 ・吉田町移住応援ポータルサイト「“ぎゅっと”なまち よしだ」にて、移住を検討している方向けに情報発信を行った。また、SNSと併せて情報発信を行うことで、より幅広い年齢層の方に町からの情報が届くように体制を整えた。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・吉田町移住応援ポータルサイトにより、当町への移住を検討している方に対して「知る」、「働く」、「暮らす」、「子育て」、「住む」のキーワードごとに町の支援策等を周知し、アクセス数増加につなげたことで、補助金についても効果的に周知することができた。 ・町の認知度向上や移住促進に向けて、町内の企業等と連携したシティプロモーションに取り組んでいく。 					

指標No.24 吉田カムカム補助金交付件数

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
4件/年	5件/年 4件/年	5/年	5/年	5件/年	C	企画課
令和6年度の取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「吉田カムカム補助金」を交付し、町内における大規模イベントの開催を支援した。 ・吉田町民を主としたイベント参加者と交流都市である福岡県八女市との地域間交流が図られた。 ・大規模イベントの開催による更なる賑わいづくりにつなげるため、対象事業の入場者数の要件緩和と「翌年以降も継続開催する見込みの事業」という要件を廃止し、新たなイベント開催を後押しする体制をつくった。 <p>【吉田カムカム補助金の交付実績】 頂、吉田野営、吉田クラフトフェア、チューリップまつり 2025in よしだ</p>					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模イベントの開催による更なる賑わいづくりに取り組んだが、交付件数増加には至らなかった。 ・カムカム補助金の対象となるような新たなイベントを誘致し、町内での大規模イベントの開催を促進するために、様々な媒体を活用し全国に向けて支援制度等を広く周知していく。 					

【分野(2) 土地利用】主な成果指標

指標No.25 吉田町国土利用計画に基づく適正な土地利用の進捗率

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	企画課
100%	100%	100%	100%	100%		
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度からを計画期間とする「第4次吉田町国土利用計画」の土地利用に関する基本構想に沿って、適正な運用を行った。 【土地利用に係る受付実績】 土地利用申請件数 12件 開発行為の許可等に関する受付事務件数等 31件 調整池、公園等修繕 住吉3件、神戸2件 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 今後、各課において開発を計画する場合、各種計画を策定する場合又はこれらの見直しをする場合等は、第4次吉田町国土利用計画の位置付けを踏まえて整合性を図っていく。 					

【分野(3) 農業】主な成果指標

指標No.26 認定農業者等への農地集積率

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	B	産業課
61.4%	68.0%	71.3%	74.6%	78.0%		
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 先進農家への視察や意欲ある担い手と意見交換等を行うことで、農業者が、自らの経営改善のほか、町内農業の発展等について考える機会となった。 規模拡大を図る認定農業者等への農地流動化や経営の安定に寄与するため、「吉田たんぼ」等、町内の優良農地の有効活用に向けて利用集積を積極的に推進した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 農地の集積、集約を推進するため、認定農業者や認定新規就農者に農地情報や補助事業等の情報を提供し、農業者の規模拡大に努めた。 令和7年度に実施する基礎調査に基づき農業振興地域整備計画の定期変更を行っていく。 					

指標No.27 大井川用水施設（水門等）の適正な管理率

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	産業課
100%	100%	100%	100%	100%		
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 町内全ての水門、除塵機、分流ゲート等について定期点検による目視確認を行った。 農業用水を安定的に供給することにより、地域における農業経営の安定化と地域用水機能（防火用水・景観）の維持増進を図るとともに、農業水利施設を保全することができた。 西久保農村広場トイレの点検・清掃等の実施したことで、地域住民が安心して利用できる場を提供することができた。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 土地改良区への賦課金助成金や国営大井川用水農業水利事業（第1期及び第2期）の償還金等を負担することにより、農業用水の通水量の安定確保や防火用水機能等、適正な維持管理が行われている。 大井川用水が安定的に供給されるよう大井川土地改良区や近隣市町と情報を共有しながら維持管理に努めていく。 					

指標No.28 荒廃農地面積

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	C	産業課
14 ha	13.9 ha	13.6 ha	13.3 ha	13.0 ha		
	17.0 ha					
令和6年度の取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・農業委員会と連携し、広報等による情報発信、農地パトロールの実施、是正指導、新規就農者への農地のあっせんを重点的に行い荒廃農地の発生防止に努めた。 ・農地法及び農業経営基盤強化促進法の規定による申請について、農業委員会を毎月開催し、審査等を実施した。また、ハイナン農業協同組合等と連携し農地の斡旋・仲介等を行い、農地流動化の推進を図った。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の荒廃農地再生事業補助金の活用により、担い手農家への斡旋を強化しているが、経営農地は比較的分散傾向にあり、農作業の効率化が図られず、既存の耕作者の高齢化により耕作できない農地が増加した。 ・計画に沿った農用地利用集積等促進計画を作成し、担い手への農地集積を促進していく。 					

【分野(4) 水産業】主な成果指標

指標No.29 吉田漁港多目的広場を活用したイベント開催回数（累計）

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	産業課
0回	0回	1回	2回	3回		
	2回					
令和6年度の取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県主催のレクリエーションイベントや自治会主催のウォークラリーの会場として吉田漁港多目的広場が活用され、町内外の方に広く利用された。 ・水産関係団体と連携して、水産施策の促進に取組、漁港環境の改善に資することができた。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・他自治体とも協力しながら、町内の周遊を促すイベントの開催や県外における物産展の開催により、他県にも当町の特産品である「うなぎ」や「しらす」をPRすることができた。 ・吉田漁港多目的広場の活用方法について、他市町の事例等を参考に検討を行っていく。 					

指標No.30 漁港施設の長寿命化計画の更新

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	C	産業課
0%	50%	100%	100%	100%		
	0%					
令和6年度の取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な漁港環境の整備に資するため、「吉田漁港機能保全基本計画」に基づき、漁港施設の機能保全対策として吉田漁港港内泊地浚渫工事を実施した。 ・漁協施設の長寿命化計画に係る令和6年度中の更新作業はなく、令和7、8年度にかけて実施する更新業務において、各漁港施設の最適な補修時期を検討し、工事計画を策定する。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・吉田漁港多目的広場の整備等、優先順位をつけながら事業を実施するなかで、計画の更新は令和7、8年度にかけて更新していくこととした。 ・引き続き、吉田漁港内の整備及び維持管理を効率的に実施していくための計画策定を進め、健全な漁港施設の維持に努めていく。 					

【分野 (5) 商工業】主な成果指標

指標No.31 小口資金利子補給金交付率

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	産業課
100%	100%	100%	100%	100%		
	100%					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業者等の事業活動に必要な資金を貸し付けた金融機関に対し、利子助成金を交付した。 ・中小企業及び小規模事業者の経営基盤の安定化を図るため、「小口資金利子補給金」のほか、「小企業等経営改善資金利子補給金」等によって持続的な事業運営ができるよう支援した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・資金調達の円滑化の支援を目的とした利子助成事業によって、中小企業・小規模企業の経営基盤の安定化を図ることができた。 ・中小企業・小規模企業の経営基盤の安定及び健全な発展を図るために利子助成・利子補給制度は必要であり、引き続き金融機関と連携して事業を実施していく。 					

【分野 (6) 観光】主な成果指標

指標No.32 観光交流客数

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	B	産業課
197,774人/年	300,000人/年	300,000人/年	300,000人/年	300,000人/年		
	255,485人/年					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・吉田町凧揚げまつり、吉田町港まつり・花火大会、小山城まつりにおいて、多くの来場者に楽しんでいただくとともに、他市町、関係機関と情報を共有し、連携して観光事業に取り組むことによって、イベントや観光PRを効果的に行うことができた。 ・観光客の誘客につなげるため、雑誌への掲載やメディアへの出演により吉田町の魅力について積極的に情報発信した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・展望台小山城周辺の支障木の大規模剪定やアクセス道である女坂に手摺を設置したことにより、小山城周辺の環境が整い、観光交流客数を増加させることができた。 ・町観光協会及び関係機関と連携し、より誘客が望めるよう工夫をしていく。 					

【分野 (7) 新産業】主な成果指標

指標No.33 産業振興事業補助金（新規創業事業）の交付件数（累計）

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	産業課
11件	22件	30件	37件	45件		
	28件					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援センターを適切に管理するとともに、利用希望者を募ったところ1名の利用があった。 ・新規創業者を支援し町の産業振興を図るため、産業振興事業費補助金の交付及び創業支援セミナーを実施した。 <p>【産業振興事業補助金の交付件数】 8件</p>					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・吉田町創業支援ネットワークに参画している創業支援機関や関係機関と連携し、創業から創業実現後のフォローアップまできめ細かな支援に取り組んだことによって、新規創業の促進につながった。 ・産業振興事業費補助金の活用を推進し、町内における新規創業の促進を図っていく。 					

【分野 (8) 企業誘致】主な成果指標

指標No.34 企業進出件数 (累計)

現状値	目標値 (上段) / 実績値 (下段)				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	C	産業課
0件	1件	2件	3件	4件		
	0件					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・町ホームページに掲載している遊休地情報に新たに位置図を加えることによって、引き合い企業に対してわかりやすい内容となるよう改善を図った。 ・町内企業5社を訪問し意見交換を実施したことによって、町の事業及び補助金制度を周知するとともに、企業の現状、今後の展望等についての情報を得ることができた。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・町内への企業立地を促進させるため、県と連携した効果的な手法による企業誘致情報の発信や企業立地支援体制の強化を図るなど積極的な企業誘致活動を展開していく必要がある。 ・企業立地促進事業費補助金制度は企業側にとって大きな支援となっており、新規企業の進出、既存企業の事業拡大の促進につながることから継続して行っていく。 					

【分野 (9) 雇用・就業対策】主な成果指標

指標No.35 合同企業説明会参加企業数 (累計)

現状値	目標値 (上段) / 実績値 (下段)				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	産業課
16件	45件	60件	75件	90件		
	45件					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・企業と求職者をつなぎ、町内企業の人材不足解消や企業PR、職場への定着率向上を目的とした吉田町合同企業説明会を開催した。また、説明会終了後においても、企業のPR活動を継続して支援するために、当該説明会に参加した企業の紹介を町ホームページに掲載した。 【合同企業説明会参加者の採用実績】 4名 (男性2名、女性2名) 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・合同企業説明会を開催し、企業と求職者のマッチングの場を提供することで、企業の人材不足解消を図ることができた。 ・吉田町商工会及び公共職業安定所と連携し、合同企業説明会を開催するとともに、地域就職支援事業費補助金制度をPRすることによって、地元企業への就業の促進を図っていく。 					

第3章：活力と魅力あふれる産業振興のまちづくりにおける進捗状況・今後の展望

- ・津波防災まちづくりと賑わいまちづくりを両立させた魅力あるまちづくりを行っていくため、「シーガーデンシティ構想」として“ふじのくに”フロンティアを拓く取組を進めています。町の玄関口として位置付ける吉田インターチェンジ周辺の整備や、沿岸部における賑わいを創出するための県営吉田公園南側用地の整備、企業立地を促進するための企業立地環境の整備を進め、豊かで勢いのある魅力的なまちを目指していきます。
- ・高齢化等により農業の担い手が減少している中、新規就農者への農地のあっせんを行い、優良農地を確保して荒廃農地の発生防止を図っています。引き続き担い手を育て、集積率を高めることによって保全農地の効率化を促進するとともに、荒廃農地の有効利用を検討していきます。
- ・吉田町創業支援ネットワークに参画している創業支援機関や関係機関と連携し、創業から創業実現後のフォローアップまで、きめ細かな支援に取り組んでいます。引き続き、町内における新規創業の促進を図っていきます。

◆ 第4章 多様な人々が快適に暮らせるまちづくり

地域の特性に応じた良好な住環境や、安全で円滑な移動ができる道路環境を創出し、住民の日常生活における利便性を確保するとともに、誰もが輝ける社会を形成することにより、多様な人々が快適に暮らせるまちを目指します。

【分野(1) 住環境】主な成果指標

指標No.36 空き家バンク制度の利用登録件数（累計）

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
0件	2件 2件	3件	4件	5件	A	都市環境課
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 空き家の所有者に対しての相談会において空き家バンク制度を紹介した。 住民等からの相談や苦情により把握した空き家等に関し、聞き取り調査や現地調査を実施したうえで、所有者等を調査し、情報の提供や助言等を行った。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 空き家の所有者からの相談に対し、空き家バンク制度を紹介するとともに、司法書士に相談することで適切な意見を頂くことができ、空き家利活用の促進につなげることができた。 吉田町空家等対策協議会を開催し情報共有を図ることで、関係団体と連携して空家対策を推進していく。 					

指標No.37 花いっぱい活動団体数

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
12団体	14団体 13団体	16団体	18団体	20団体	B	都市環境課
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 花いっぱいの快適な生活環境づくりを促進するため、町内各所の花壇に草花を継続的に植栽する団体に対して「吉田町花いっぱい活動補助金」を交付した。 花いっぱい活動団体数の増加を目指し、要綱の改正を行い団体の認定要件等を緩和した。 緑化指導者の育成のために、花の植栽方法に関する研修会等の案内や団体主催の視察研修に参画した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 花いっぱい活動団体に対して補助金を交付することで、年間を通じて公共的花壇の維持管理を行い、人の融和と花を基調とした景観づくりを促進するとともに、町民が花に囲まれたやさしい空間の中でゆとりある心を持って生活できる環境を創出することができた。 活動団体の高齢化や個人活動への移行等により、継続的に良好な景観を形成するための手法を検討する必要がある。 花いっぱい活動団体数の増加を目指し、若年層や事業所への周知・募集をしていく。 					

指標No.38 西の宮雨水幹線の整備率

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	都市環境課
32.9%	45.0%	50.0%	55.0%	59.3%		
	50.3%					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 西の宮雨水幹線において、改修工事（L=54m）を実施した。 西の宮雨水幹線の排水機能の向上を図るとともに、浜田土地区画整理組合内の水路として整備することで、事業の進捗を図ることができた。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 「静岡空港隣接地域賑わい空間創生事業費補助金」等を活用することで、最少の経費で事業の進捗を図ることができ、引き続き、予算の確保に努めながら実施していく。 					

指標No.39 町営住宅大規模修繕棟数（累計）

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	C	都市環境課
0棟	1棟	2棟	3棟	4棟		
	0棟					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 既存の公営住宅を適切に維持管理し有効活用するため、破損、老朽化した部分の修繕及び工事、退去時のリフォーム、各設備等の定期的な点検を実施し、入居者の居住性の維持に努めた。 令和6年度中は大規模修繕を実施しなかったが、今後、「吉田町公営住宅等長寿命化計画」に基づき、外壁塗装工事や住居性改善工事を実施していく。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 経年劣化に伴う修繕や設備等の定期的な点検対応を実施し大規模修繕には至らなかったが、「吉田町公営住宅等長寿命化計画（計画期間：令和5年度から令和14年度まで）」に基づき、町営住宅の長寿命化に係る工事を実施していく必要がある。 さくら団地は外壁塗装工事のための設計業務委託及び改修工事を、松下団地は空き状況を見ながら居住性改善工事を実施していく。 					

【分野(2) 公園・緑地・水辺】主な成果指標

指標No.40 緑化イベント参加者数

(車両(乗用車、シャトルバス)の件数をカウントし参加者数を算出)

現状値	目標値(上段) / 実績値(下段)				目標値に対する評価	担当課
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	C	都市環境課
12,000人/年	15,000人/年	15,000人/年	15,000人/年	15,000人/年		
	12,000人/年					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化の啓発や推進を図るため、令和6年4月29日に「第32回みどりのオアシスマつり」を開催した。 ・更なる町民の緑化意識を高める取組として、みどりのオアシスマつりのイベント中に新築家庭26戸への苗木等を配布した。 ・令和7年2月17日に「緑化審議会」を開催し、「第33回吉田町みどりのオアシスマつり」開催案について意見を伺い、記念植樹の樹種の選定や、無料シャトルバスの運行経路の変更を検討した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化審議会において出された意見を反映し、既存事業に留まらず魅力ある事業とすることで来場者を増やし、より多くの町民に対して緑化意識の高揚を図ることができるようにしていく必要がある。 ・緑化イベントにおいて吉田町花の会と連携しながら花苗等啓発物資の配布を行うことで、家庭レベルでの植栽活動を推進していく。 					

指標No.41 公園施設定期パトロール回数

現状値	目標値(上段) / 実績値(下段)				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	建設課
52回/年	52回/年	52回/年	52回/年	52回/年		
	53回/年					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・公園施設の定期的なパトロールや遊具点検、樹木剪定等を行うことにより、住民等の公園利用者に、安全で安心して休息、運動、レクリエーションの活動を行う場を提供することができた。 ・町による公園管理に加えて公園愛護会の除草作業等により、公園施設の環境を維持した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・定期パトロールの実施により現状把握に努めたことで、湯日川親水公園の公衆トイレ改修や青柳公園のインクルーシブ遊具の設置につながり、誰もが利用しやすい公共施設として利便性の向上を図ることができた。 ・公園を安全に利用できるよう施設や遊具等の点検を行い、計画的に修繕等を実施していく。 					

指標No.42 能満寺山公園駐車場整備率

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	B	建設課
0%	30%	40%	100%	100%		
	21%					
令和6年度の取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・町のシンボルである展望台小山城へのアクセス向上と来場者の利便性向上を図るための高台部分への駐車場整備に伴い、買収予定用地の登記に必要な調査、測量、所有権移転を実施した。 ・1筆の用地買収を実施し、能満寺山公園駐車場整備に向け、進捗を図ることができた。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度に未相続での所有者不明により取得できなかった土地について調査を継続していく。 ・所有者調査により、所有者が判明したところで事業実施時期を検討していく。 					

指標No.43 保安林の面積の維持

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	産業課
8.86 ha	8.86 ha	8.86 ha	8.86 ha	8.86 ha		
	8.86 ha					
令和6年度の取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・保安林等を維持管理するため、住吉・川尻地区の保安林等の景観を損ねる枯木や支障木の伐採、下草の除草を実施した。 ・県の森林整備アドバイザー事業を活用することにより、今後の保安林等の維持管理の方法や松の生育について学ぶことができた。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・松の清掃活動を行うボランティアへフレコンバックを貸出し、保安林等の松林の下草刈りや枝払い等を効率的に実施したことにより、保安林の環境を維持することができた。 ・引き続き、保安林の下草刈りや枝払い等により環境維持に努めるとともに、就労継続支援A型事業所へ松葉回収等を依頼し、農福連携を推進していく。 					

【分野(3) 道路網】主な成果指標

指標No.44 大幡川幹線（未整備区間）の事業全体における進捗

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	建設課
10%	30%	40%	50%	60%		
	30%					
令和6年度の取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の進捗を図るため、大幡川幹線において、道路改良に伴う測量業務及び設計業務や用地取得に伴う不動産鑑定評価を実施した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・利便性の高い交通環境の構築を図るため、着実に事業を実施することができた。 ・大幡川幹線の事業進捗を図るため、他事業との事業調整を図るとともに、財源の確保を検討していく。 					

指標No.45 生活道路の新規事業着手の箇所数（累計）

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	B	建設課
0箇所	2箇所 1箇所	4箇所	4箇所	5箇所		
令和6年度の取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境の向上を図るため、生活道路の整備を進めた。 谷川東塩谷線…道路改良に伴う測量及び設計（L=330m）【新規】 問屋堤線道路…道路用地（1筆）の買収、道改良工事（L=182m） 中瀬北原1号線…用地（2筆）の買収、電柱移転（2本）、電線移設（1本） 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 道路改良事業の内、問屋堤線の改良工事が完了したことにより、道路の安全性が向上し、円滑な道路環境を構築することができた。 町内で実施される他事業や維持管理面と調整を図るとともに、財源の確保を検討しながら、新規路線の事業着手を検討していく。 					

指標No.46 舗装修繕の実施距離（累計）

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	B ⁺	建設課
1.5 km	4.5 km 4.2 km	6.5 km	8.5 km	10.9 km		
令和6年度の取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 社会資本整備総合交付金及び公共施設等適正管理推進事業債（長寿命化事業）等を活用し、修繕実施率の進捗を図った。 【工事実績】 西の宮線舗装補修工事、大幡大井川線舗装修繕工事、鮎ヶ窪1号線外1路線舗装修繕工事、本田線外2路線舗装修繕工事、鮎ヶ窪7号線外1路線舗装補修工事、本田線舗装修繕工事 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 舗装維持管理計画に基づき、舗装修繕の進捗を図ることができた。 令和5年度に実施した路面性状調査の結果に基づき、計画的な舗装修繕を継続していく。 					

指標No.47 橋梁点検数

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	建設課
39橋/年	52橋/年 69橋/年	52橋/年	52橋/年	52橋/年		
令和6年度の取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁の健全性を診断するため、国土交通省令、告示に基づき、5年に1回の定期的な橋梁点検を実施した。 橋梁定期点検において、橋梁のひび割れ、鉄筋露出等が確認され、判定Ⅲ（早期措置段階）と判定された橋梁については、安全面や景観面等を考慮しつつ快適な道路環境を維持するため、補修工事を実施した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁点検により損傷箇所の分類を行い、効率的な補修を実施するための指標とすることができた。 引き続き、定期的な橋梁点検を実施し、点検の結果補修等が必要となった橋梁については、計画的に補修設計及び補修工事を実施していく。 					

【分野 (4) 生活交通】主な成果指標

指標No.48 町内バス停の乗降者数

(町内路線バス停乗降者をカウント(“ぎゅっと”カーよしだの利用者は含めない))

現状値	目標値 (上段) / 実績値 (下段)				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	企画課
416,006人/年	425,000人/年	430,000人/年	438,000人/年	438,000人/年		
	446,328人/年					
令和6年度の取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> 既存のバス路線2路線3系統を維持するため、関係市町との連携によるバス路線維持に向けたバス事業者への支援として、「地域間幹線系統確保維持費補助金」を交付した。 「新しい交通」としてオンデマンド型乗合タクシー(“ぎゅっと”カーよしだ)の実証運行を行い、バス乗継割引(通学定期に加え通勤定期券も割引の対等となる。)やバス乗継優先時間を設定したことにより、既存の路線バスとの接続による広域移動の確保や高齢者等の移動手段として地域移動を支える公共交通を可能とした。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 「新しい交通」の仕組みとして“ぎゅっと”カーよしだを導入し、町内を走る路線バスと“ぎゅっと”カーよしだの運行を接続したことで、町内バス停の乗降者数の増加を図ることができた。 “ぎゅっと”カーよしだの周知に努めるとともに、バス事業者との連携を図っていく。 					

【分野 (5) コミュニティ】主な成果指標

指標No.49 自治会への加入率

現状値	目標値 (上段) / 実績値 (下段)				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	C	総務課
65.1%	67.5%	69.1%	70.4%	71.7%		
	62.5%					
令和6年度の取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> 「自治振興費補助金」「町内会活動費補助金」等を交付することにより、各地区がそれぞれ地域の特性を生かし自発的に行っている自治会の活動等を支援するとともに、町内会等の円滑な運営やコミュニティづくりに貢献することができた。 自治会運営におけるデジタル化や地域コミュニケーションの工夫を学ぶため、北海道苫小牧市拓勇東町内会を視察し、地域活動の活性化や将来を見据えた組織運営について学ぶことができた。 各自治会による主体的な加入率向上の取組の促進について自治会連合会と協議し、自治振興費補助金の対象として、「加入促進に寄与する事業」と「自治会活動の活性化に寄与する事業」の2つの補助メニューを新たに追加した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 外国人世帯が急増しており、自治会制度や加入手続の方法に加え、多言語でコミュニケーションを図ることができる環境整備が課題である。また、加入方法が分からない人や転入者へのフォローが必要である。 多言語化した加入促進のためのチラシを企業や不動産会社、保育園入所時などで配布し、自治会活動を周知していく。 「女性登用補助加算金」制度に加え、各自治会が加入促進事業や活性化事業に積極的に取り組むことができるよう補助金の交付等により支援していく。 					

指標No.50 コミュニティ活動支援件数（累計）

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	B	企画課
4件	6件 5件	8件	10件	12件		
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ活動の拠点となる自治会や町内会等に対してコミュニティ活動に必要な備品等の整備を支援するため、「コミュニティ助成事業交付金」を交付した。 （令和6年度 北区第一町内会コミュニティ推進協議会） ・地域住民のコミュニティ活動に対する意識啓発を図るため、コミュニティ助成事業の取組を広報紙に掲載した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が積極的にコミュニティ活動に参加できる環境整備を行うため、自治会定例会の際に、各自治会を通じて（一財）自治総合センターのコミュニティ助成事業の周知と要望調査を実施し、活動支援に努めた。 ・「コミュニティ助成事業助成金」を効果的に活用できるよう、各自治会に周知を徹底し、事業を実施していく。 					

【分野(6) 多文化共生】主な成果指標

指標No.51 日本語教室等の実施回数

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	B ⁺	企画課
27回/年	43回/年 42回/年	43回/年	43回/年	43回/年		
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・町主催の対話交流型初期日本語教室を開催し、外国人住民が生活する上で必要最低限の日本語を習得することができるとともに地域住民とコミュニケーションを図り、相互の文化を理解する機会を提供した。 ・世界に開かれた快適で魅力ある地域づくりを推進するため、日本語勉強会や国籍が異なる住民同士の交流イベントを開催する吉田町国際交流協会に対して、「国際交流事業費補助金」を交付し活動を支援した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度新規事業として「吉田町はじめてのほんご教室」を実施し、実施回数を増加させたことで、日本語初心者の外国人住民が日本語に触れる機会や地域住民との交流する機会とすることができた。 ・吉田町国際交流協会を支援するとともに「吉田町はじめてのほんご教室」については、人員配置や周知方法等に改善を加えながら事業を継続していく。 					

【分野 (7) 男女共同参画・人権尊重】 主な成果指標

指標No.52 審議会等委員に占める女性の割合

現状値	目標値（上段）／ 実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	B	企画課
22.8%	25.0%	26.0%	27.0%	28.0%		
	23.6%					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 各種審議会等を所管する庁内各課に対して女性の登用促進について通知し、各種審議会等委員への女性の積極的な登用を呼びかけた。 女性団体連絡協議会や講演会を通じて、町内の各女性団体の親睦を深めるとともに、各団体のリーダーとしての資質を向上させることができた。 町民の男女共同参画に対する理解を促進するとともに、男女共同参画意識の醸成を図るため、男女共同参画週間や運動期間に合わせて、広報紙への掲載や庁舎等のポスター掲示により年間を通じ啓発を行った。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 「第4次吉田町男女共同参画プラン」の関係部署による評価及び進捗状況の把握をし、外部評価を受けることで、改善すべき内容を再検討することができた。 審議会等委員の女性の割合について、男女共同参画社会推進のためには、固定的性別役割分担意識を払拭し男女がともに地域社会の一員として参画・活躍できることが重要であるという認識を高めるため、庁舎内に向けた研修を実施していく。 					

指標No.53 人権啓発活動（人権教育講演会、人権を守る会）参加者数

現状値	目標値（上段）／ 実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	B	福祉課
60人/年	150人/年	150人/年	150人/年	150人/年		
	104人/年					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育講演会は、静岡県立大学国際関係学部教授による講演会を行い、アンケート結果によると86.8%の参加者が「人権問題に関心を持ち、偏見を持ったり差別したりしないようにしたい」と回答した。 人権を守る会では、人権啓発指導員による「インターネットと人権」という研修会を行い、アンケート結果によると92.6%の参加者が「研修会に参加して、人権問題について関心や理解は深まった」と回答した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育講演会など啓発活動を行うことで、参加者に対して身近にある人権問題について再認識する機会を与えることができた。 引き続き、住民の人権尊重意識の高揚を図るため、人権啓発活動を実施し、差別のない社会の実現に努めていく。 					

【分野 (8) ユニバーサルデザイン】 主な成果指標

指標No.54 公共施設におけるユニバーサルデザイン化実施箇所数 (累計)

現状値	目標値 (上段) / 実績値 (下段)				目標値に対する評価	担当課
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	企画課
3箇所	4箇所 8箇所	5箇所	6箇所	7箇所		
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県市町村振興協会の「公共施設ユニバーサルデザイン化及び省エネルギー・新エネルギー機器導入助成事業」を関係課へ周知し、必要な施設の調査を実施したことにより、各課の取組状況を把握することができた。 ・地域住民の施設利用における快適性の向上に資するため、小山城女坂手摺設置、湯日川親水公園のトイレのユニバーサルデザイン化、神戸西会館の非常用照明 LED 化、吉田町立さくら保育園、すみれ保育園、さゆり保育園、わかば保育園の窓ガラスへ遮熱フィルム貼り付け、吉田町役場の窓ガラスへ遮熱フィルム貼り付けを実施した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・各課における取組状況を把握するとともに、広報誌において記事を掲載したことで、ユニバーサルデザインの周知を図ることができた。 ・引き続き、「公共施設ユニバーサルデザイン化及び省エネルギー・新エネルギー機器導入助成事業助成金」を効果的に活用できるよう、各課と連携を図り事業を実施していく。 					

第4章：多様な人々が快適に暮らせるまちづくりにおける進捗状況・今後の展望

- ・町内の橋梁は、長寿命化を図るため、国の補助を受けながら5年ごとの定期的な点検とその結果に基づき計画的に補修工事を実施しています。定期点検の結果により構造物の機能に支障が生じる可能性があるかと判定された橋梁のうち、大幡地内の4号橋、神戸地内の出水川橋、川尻地内の第4号橋梁の3本の橋の補修工事等を実施していく予定です。
- ・誰もが気兼ねなく町内を移動できる環境の整備に向けて、オンデマンド型乗合タクシー“ぎゅっと”カーよしだの実証運行を実施しています。“ぎゅっと”カーよしだは、町内3箇所のバス停留所と連動してバス乗り継ぎ優先時間を設けることにより、町外への移動にも対応しながら公共交通の充実を図っています。今後は、交通環境の整備に向けて本格運行への移行を総合的に判断していきます。
- ・核家族化や転勤による短期間の単身世帯の転入に伴う世帯数の増加により、自治会への加入率やコミュニティ活動への参加が減少している現状を踏まえ、自治会や町内会等への補助金交付やコミュニティ助成により活動を支援しています。令和7年度からは「女性登用補助加算金」制度を緩和することで、町内会運営に女性の目線が生かされ、誰もが参加しやすい組織となるよう支援していきます。
- ・町内に居住する外国人住民が増加している状況を踏まえ、日本語に不慣れな外国人住民の方を対象に、日常生活に必要な最低限の日本語を身に付けてもらうため、「吉田町はじめてのほんご教室」を開催しました。吉田町国際交流協会や関係機関と連携を図りながら、外国人住民と日本人住民が相互の文化を理解し、ともに快適に生活できるまちを目指していきます。

◆ 基本理念 3

豊かな心を育みいきいきと暮らせるまちづくり

◆ 第5章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり

住民一人一人の主体的な健康づくりへの取組を地域、学校、医療機関、職域、行政等の連携協働により推進し、また、住民が安心して地域で医療サービスを受けることができるよう医療体制を充実させることにより、誰もが健やかに暮らせるまちを目指します。さらに、安心して出産・子育てができる環境や、ともに支え合い、住み慣れた地域で暮らせる環境を創出することにより、誰もが安心していきいきと暮らせるまちを目指します。

【分野(1) 健康づくり】主な成果指標

指標No.55 地域のイベントで健康づくりに関するコーナーを設けている数

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
1箇所	9箇所以上 8箇所	9箇所以上	9箇所以上	9箇所以上	B	健康づくり課
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 保健協力委員の自主活動や健康づくり友の会の活動において、地区の文化展やふれあい広場等に参加し、血圧測定や減塩みそ汁、減塩に関するリーフレット等を配布した。 「健康ガイド」として1年間の事業予定を掲載した健康ガイドを9,500部作成し、全戸配布するとともに町ホームページに掲載した。 健康づくりへの関心を高め、生活習慣の改善や、健（検）診受診率向上につなげるため、インセンティブを利用した健康マイレージ事業を継続し実施した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 地域イベントを活用したことで、より身近な場所で高血圧予防のための減塩や野菜摂取など健康づくりに関する知識や情報を町民に伝えることができた。 実態調査アンケート及び現行計画の評価を踏まえ、次期計画となる「第3次健やかプラン吉田21（健康増進計画・食育推進計画）」を策定し、更なる健康づくり事業の促進を図っていく。 					

指標No.56 高血圧有病者の割合(40歳～74歳)

現状値	目標値(上段) / 実績値(下段)				目標値に対する評価	担当課
令和2年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	C	健康づくり課
男性41.9% 女性28.6%	男性41.0% 女性28.6%	男性40.0% 女性28.6%	男性39.0% 女性28.6%	男性38.3%以下 女性28.6%以下		
	男性43.7% 女性28.9%					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣の改善に向けたポイントや動機付けを行うため、特定健診の結果に応じた訪問や来所による保健指導や受診勧奨を実施した。 生活習慣病の発症予防に繋げるため、特定健診の結果、血糖コントロール不良者等に対して生活習慣病の発症リスクに基づいた保健指導を実施し、生活習慣の改善や精密検査の受診を促した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 肥満傾向や糖尿病の恐れがあるなど対象者の特徴を明確にし、個別に働きかける必要がある。 生活習慣における行動変容を起こすためには、長期的かつ多角的な取組が必要であることから、地域包括支援センターや福祉課等関係機関との協働により、健診未受診者への受診勧奨や生活環境改善に向けた取組を実施していく必要がある。 町民の健康意識を掴むための取組(手作りリーフレット、ベジチェック等の視覚化できる簡易キットの活用など)や生活習慣を変える土台作りについて、定期的に課内検討を行い事業に反映していく。 					

指標No.57 麻しん風しん予防接種(第2期)接種率

現状値	目標値(上段) / 実績値(下段)				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	C	健康づくり課
95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%		
	88.4%					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 就学児健診において年長児の保護者を対象に、MR2期(麻しん風しん混合ワクチンを小学校就学前の前年いわゆる年長児の1年間に接種すること)の勧奨の案内を配布し、感染症予防について説明した。 問題なく予防接種事業を進めるため、予防接種委託医療機関と調整を密にし体制を整えた。 【麻しん風しん予防接種(第2期)の接種人数】 199名(対象者225名) 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 任意予防接種について、費用負担の軽減を図ることで、安心して子育てができる環境の整備に努めたが、接種率維持には至らなかった。 対象者全員に個別通知を送るとともに、保護者との接触機会の活用や電話等による追跡調査を実施し、未接種者や対象者に対し接種勧奨を積極的に実施していく。 					

指標No.58 妊娠出産等応援助成事業を利用した者の割合

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	健康づくり課
—	100%	100%	100%	100%		
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センターの母子保健コーディネーターや雇いあげ保健師・助産師と連携し、特定妊婦、ハイリスク妊婦等支援が必要な妊産婦に対し、伴走型の相談支援や情報提供を行った。よりハイリスクなケースにおいては、他関係機関を交え、ケース会議等を実施し、役割分担しながら対応に当たった。 ・移動手段がない産婦に対し早期にサービスを提供するため、令和6年度より産後ケア事業にアウトリーチ型を加えた。 <p>【妊娠出産等応援事業の実施者数】 プレママサポート助成金：144人／パパママサポート助成金：167人</p>					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・吉田町妊娠出産等応援助成金及び出産・子育て応援給付金申請の際に保健師が面談を実施し、申請者の養育環境や抱える困難等の状況把握を行うことができた。 ・各種健診、相談の受診率向上と事後フォローが必要な親子へのサポート体制強化に向けて、課内検討や関係機関と話し合いにより支援方法を見直し改善を図っていく。 					

※現状値がないものについては「-」としております。

指標No.59 住民に対する減塩推進普及活動

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	健康づくり課
19箇所/年	19箇所/年 以上 19箇所/年	19箇所/年 以上	19箇所/年 以上	19箇所/年 以上		
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・食育や共食、野菜摂取、バランスのよい食事について周知するため、町ホームページ、町公式LINE、ラジオ（FM島田）、食育だより（幼稚園児の保護者対象）等により情報提供した。 ・健康づくりセミナーと題して「自分に合った食事量が大切！おいしく食べて健康に」「これで-2g！食事に含まれる塩分を知ろう」等、テーマに則して管理栄養士等による講話を実施した。 ・吉田町健康づくり友の会の活動を通じて、野菜摂取等に関する資料の配布、小学生への調理実習等、実践を交えながら食育について周知、啓発した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり友の会、町内幼稚園、保育園、既存の各種事業の場を活用し、子どもから高齢者までの幅広い世代へ食育普及活動を行うことができた。 ・第3次吉田町食育推進計画を策定し、保育園、幼稚園、学校、食に関わる団体、企業等とともに、食育事業を実施していく。 					

【分野(2) 地域医療】主な成果指標

指標No.60 内科診療所数

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	健康づくり課
7箇所	7箇所	7箇所	7箇所	7箇所		
	7箇所					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・町民が地域で安心して医療サービスを受けることができる体制維持のため、「吉田町診療所開設補助金制度」について、町ホームページへ掲載し周知を行った。 ・町と地域医療を支える「はいなんの会」との共同事業として、こども医療費受給者証発送の際に、夜間や休日における医療機関のかかり方や医療機関を受診する際の留意点等のチラシを同封し、保護者に対する適正受診の啓発を図った。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・「吉田町診療所等開設補助金制度」を活用し診療所が1件新設されたことで、地域における医療サービスの充実につなげることができた。 ・適正受診に係る啓発活動を実施することで、夜間・休日における小児救急医療に係る適正受診の促進（初期救急と第2次救急の分別）につなげることができた。 ・町民が、身近な地域で安心して医療を受け続けられるよう、町内に新たな診療所を誘致することを目的とし、吉田町診療所等開設補助制度を広く周知するため、学術大会等のイベントに参加していく。 					

指標No.61 2次医療圏での救急医療体制数

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	健康づくり課
3体制	3体制	3体制	3体制	3体制		
	3体制					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と志太榛原地域の救急医療体制及び救急医療センターの運営等について協議し、当町における救急医療体制の確保を図った。 ・休日当番医情報を毎月「広報よしだ」に掲載するとともに、「吉田町公式LINE」にて休日朝に情報を発信した。 ・切れ目ない診療体制を継続して構築し、もって、夜間及び休日における町民の医療に対する安全・安心を確保するため、「志太榛原地域救急医療センターでの夜間診療」及び「榛原医師会所属医師の開設するクリニックでの休日診療」を併せて実施した。 <p>【3体制の内容】 休日当番医、総合病院、志太榛原地域救急医療センター …休日、夜間及び救急医療に対応できる体制を確保している。</p>					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・救急医療体制について構成市町と協議を行い、救急医療運営に係る負担金を構成市町毎の負担割合算出方法を基に納入し、救急医療の3体制を維持することができた。 ・志太榛原地域の救急医療体制を維持するとともに、関係市町で課題等について、協議を続け、より良い体制の整備に努めていく。 					

指標No.62 医療救護訓練実施回数

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	健康づくり課
1回/年	1回/年 1回/年	1回/年	1回/年	1回/年		
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における迅速な対応について体制を強化するため、「災害時健康支援担当者連絡会」「災害時の医薬品確保、供給に関する意見交換会」等の研修会等へ参加し、災害対策に関する近隣市町の状況や情報を積極的に収集した。 【医療救護訓練の実績】令和6年12月1日（日） （内容）救護所開設、トリアージ訓練、医療救護訓練 （参加者）医師、歯科医師、薬剤師、看護師、保健部医療救護班、住吉（上・東村）防災会 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・医療救護訓練を実施し、関係者と訓練計画や内容等の調整を行うことで、災害時の医療救護所の立ち上げやトリアージの方法、医療救護所の動線等について確認することができた。 ・医療救護訓練を実施する中で出される課題、特に救護所に必要な物品を随時見直すことで整備を進めていく。 					

【分野(3) 地域福祉】主な成果指標

指標No.63 ワンストップ相談窓口での相談対応率

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	福祉課
100%	100% 100%	100%	100%	100%		
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンストップ相談窓口を中心に、分野を超えた包括的支援を実施した。 ・介護保険サービス・障害福祉サービスの給付適正化、利用者に適したサービスの提供、両分野の情報を共有し、支援体制と連携体制を強化するため、高齢分野と障害分野の連絡会を開催した。 【多機関の協働による包括的支援体制構築事業】 新規相談件数：65件、継続相談件数：76件（合計141件） 【アウトリーチ】 新規相談件数：4件、継続相談件数：56件（合計60件） 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンストップ相談窓口を中心に、分野を超えた包括的支援体制を強化することで相談対応の充実につなげた。 ・地域共生社会の実現を目指し、行政のみならず多様な事業体と協働することで、支援が必要な世帯に対して確実に支援が行き届くよう体制を構築していく。 					

指標No.64 社会福祉協議会によるボランティア人材登録者数

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	C	福祉課
123人	200人 104人	200人	200人	200人		
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・人材の育成及び組織の体制づくりに資するため、町の地域福祉活動の中核となる社会福祉協議会の事業運営に対し「社会福祉協議会運営費補助金」を交付した。 ・ボランティア活動の担い手育成のため、社会福祉協議会において、小学生を対象とした福祉出前講座（11回）やボランティア講座（1回）を開催したほか、社会福祉協議会におけるボランティアの募集や講座の周知に町公式LINEを活用し、人材確保に努めた。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が広まる以前は中学生の登録も多くあったが、コロナ禍以降つながらず持たない状況が続いており、学校や各種保健福祉団体とも連携しながらネットワークを強化していくことが課題である。 ・社会福祉協議会において、小学生を対象とした福祉出前講座やボランティア講座を開催し、地域で活躍するボランティア人材の育成に努めたが、更なる内容の充実を図っていく必要がある。 ・従来の紙媒体に加え、SNS等を活用したボランティア活動や福祉サービスなどの情報を届け、幅広い年齢層に対応し福祉に関わる情報提供の充実を図っていく。 					

指標No.65 民生委員・児童委員の相談対応率

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	福祉課
100%	100% 100%	100%	100%	100%		
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・全体研修や部会別研修を行い、技術や知識を習得し、委員活動が円滑に行われた。 ・吉田町災害時要配慮者避難支援計画に伴い、避難行動要支援者名簿の確認のため訪問調査を行い、平常時から地域で支え合い、顔の見える関係を構築した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・研修等の実施や委員相互に情報共有できる場を設けることにより、委員の相談支援等に係るスキルアップを図り、地域福祉の担い手としての役割を強化することができた。 ・引き続き、定例会等において、研修会や委員相互の情報交換の場を設け、経験年数の多少に関わらず、委員全員が適切な相談対応ができる体制を整えていく。 					

【分野(4) 社会保障】主な成果指標
 指標No.66 国民年金保険料の納付率

現状値	目標値(上段) / 実績値(下段)				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	町民課
67.5%	70.5%	72.0%	73.5%	75.0%		
	78.4%					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 年金事務所主催の研修等への参加や東海北陸厚生局作成の国民年金事務費関係研修資料を常に確認し、知識の習得に努めた。 年金収納率向上のための対策について年金事務所と協議する場を設定し、対応策を検討した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 被保険者の資格の得喪事務や保険料免除申請の受付事務など、法定受託事務について、適切かつ確実に処理することができた。 納付率向上のため、年金事務所と連携体制の強化を図るとともに、口座振替やクレジットカード納付の利用勧奨を積極的に行っていく。 					

指標No.67 国民健康保険被保険者の特定健康診査受診率

現状値	目標値(上段) / 実績値(下段)				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	B	町民課
39.7%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%		
	40.3%					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 保健センターや各自治会館等での集団健診及び委託した医療機関での個別健診、人間ドックの受診により特定健康診査を実施した。 受診勧奨事業として、町公式LINEや広報への掲載、未受診者へのAIを活用した勧奨通知の発送を行った。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 健康の保持推進に関し、特定健診及び特定保健指導の受診率向上を図り、早期に疾病を発見し予防することを目指していく。 医療費抑制に向け、重複・頻回受診者や多剤服薬者への適正受診の勧奨や後発医薬品の使用促進を行っていく。 					

指標No.68 後期高齢者医療制度被保険者の健康診査受診率

現状値	目標値(上段) / 実績値(下段)				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	B	町民課
21.3%	27.0%	30.0%	33.0%	36.0%		
	22.9%					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 被保険者が受診しやすい環境を整えるため、健康診査の集団健診(土日含む)や個別健診等の複数の機会を設けた。 受診行動につながるため、健診未受診者の方へ送付する受診勧奨ハガキを目立つデザインに変更した。 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業において、健康状態不明者75人中68人(90.7%)の健康状態を把握した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 国の指針に従いながら関係各課と連携して事業を展開していき、取組により把握された高齢者の状況に応じて、健診や医療の受診勧奨、介護サービスの利用勧奨を行っていく。 					

指標No.69 介護保険事業への繰出金の適正な事務執行率

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	福祉課
100%	100%	100%	100%	100%		
令和6年度の取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険法に基づき、町は保険者として制度の周知を図るとともに、要介護等認定者に保険給付を行い、保険料収入、国・県等からの負担金を財源に、保険財政の均衡を保ちつつ、事業の適正な推進を図った。 介護保険事業の運営の安定化を図るため、要支援・要介護状態になることを防ぐための介護予防事業や包括支援センターの運営等、介護予防に重点を置いた事業を計画的に実施した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度に基づき繰り出しを行い、町の「第10次高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」に沿って、介護保険事業を適正かつ円滑に実施することができた。 引き続き、介護保険制度に基づいた負担割合で繰り出しを行っていく。 					

指標No.70 行旅人及びホームレスに対する措置費の適切な執行

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	福祉課
100%	100%	100%	100%	100%		
令和6年度の取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 助成が必要な方に対して、目的地に行く旅費が無い行旅人への旅費の支給及び終末期支援を実施した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 吉田町社会福祉協議会、中部健康福祉センターと連携を図り、生活困窮者の自立を支援することができた。 生活困窮者等に対する突発的な資金援助に資するものであり、今後も存続させていく。 					

【分野(5) 子育て支援】主な成果指標

指標No.71 子育て支援センター利用者数

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	こども未来課
7,450人/年	8,100人/年 9,583人/年	8,400人/年	8,700人/年	9,000人/年		
令和6年度の取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ニーズに応じた教室を開催したことが子育て支援センター利用回数の増加に繋がり、そこから生まれた関係性によりセンターが「気軽に悩みや相談ができる場」や「母親同士が話し共感し合う場」となった。 (講師による栄養、音楽、体操等の親子教室、リトミック教室、ベビーマッサージ教室、スキンケア教室、みんなおいで、にこにこタイム、手作り教室、移動支援センターわかば、移動支援センター住吉、散歩、フレンドパーク、おゆずり会、年間通しての誕生日カードプレゼント等) 父親へのセンター周知目的のイベント開催により、父親のセンター利用が増加してきている。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 利用者にとって気軽な交流の場となるよう、また子育て関連の情報の提供、相談及び援助を行う施設を目指して運営することができた。 事業数や実施場所の工夫をして、子育て支援センター利用者数の増加に努めていく。 					

指標No.72 保育所の待機児童数

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	こども未来課
0人/年	0人/年 0人/年	0人/年	0人/年	0人/年		
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・町立保育園で延長保育、一時預かり、病後児保育を実施した。また、民間の幼稚園または認定こども園が、通常の教育時間を超えて在籍児童の保育を行う、預かり保育を実施する際に要する経費に対して、補助金を交付した。 ・保育の業務安定を図り、働きながら子育てをする保護者を支援するため、保育士等の確保を継続的に実施した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化した保育ニーズに対応するため、保育サービスを充実したことにより、保護者の子育てと仕事の両立を支援し、安心して子育てができる環境の整備ができた。 ・育児休業からの復帰や新たに就職する保護者の円滑な就労を支援するため、育児休業終了前や新たな就職先の勤務日前から保育所の入所を認めるなど、弾力的な保育入所の取り扱いを行っていく。 					

指標No.73 放課後児童クラブの待機児童数

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	こども未来課
0人/年	0人/年 0人/年	0人/年	0人/年	0人/年		
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの支援体制を強化するため、研修や指導による支援員のスキルアップを図った。 ・子育て世帯への経済的負担の軽減を図るため、放課後児童クラブの利用料について、児童扶養手当受給世帯、非課税世帯においても減免の対象とした。 <p>【放課後児童クラブの開所実績】 開所日数 242日（中央第2のみ 245日、土曜保育3日間実施）</p>					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブを利用してもらうことで、親が安心して仕事に従事することができ、また児童にとっては集団の中で遊び・学ぶことを通じて、社会性を身につける一助となった。 ・利用者が待機することなく、安全に利用することができるよう、支援員の確保及び資質向上を図っていく。 					

指標No.74 児童虐待防止対策におけるネットワーク強化を図るための会議の開催数

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	こども未来課
8回/年	8回/年 8回/年	8回/年	8回/年	8回/年		
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に支援対象者の情報整理と方向性を検討し、家庭訪問や関係機関と情報共有することにより継続的な経過観察が図られ、必要な支援サービスにつなげることができ、状況悪化の早期発見や対応ができた。 ・家庭相談員等による窓口相談や家庭訪問を実施するとともに、町内の保育園・幼稚園に定期的に訪問し、園児の状況や各園の現状を確認した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・増加する児童虐待相談に対応するため、要保護児童等対策地域協議会において関係機関と情報共有し、早期対応及び継続支援に繋げることができた。 ・児童福祉法等の一部の改正に伴い、令和8年度に『こども家庭センター』を設置し、更なる相談支援体制の強化及び社会資源の創設を図っていく。 					

【分野(6) 高齢者福祉】主な成果指標

指標No.75 要介護認定率（調整済認定率）

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	福祉課
14.2%	14.4% 以下 14.4%	14.5% 以下	14.6% 以下	14.7% 以下		
令和6年度の取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険申請者について心身の状況に応じた保険給付を適正に行うため、訪問調査から認定審査までを一括して実施した。 地域の高齢者の日常生活の質の向上及び福祉の増進について包括的に支援するため、地域包括支援センターを設置し、地域住民の健康保持及び生活の安定のために、相談業務及び困難事例対応等において専門的な援助を実施した。 介護予防ケアマネジメントにより心身機能の維持・改善を図るため、介護支援専門員による自立支援や重度化防止に資するケアプランを作成し、対象者へ介護予防の必要性を周知した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 対象者へ介護予防の必要性を周知しセルフケアに対する意識の向上を図るとともに、一貫した専門的、効果的、効率的な介護予防ケアマネジメントにより心身機能の維持・改善を図ることができた。 引き続き、「第10次高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」に基づき、事業を実施していく。 					

指標No.76 高齢者見守りネットワーク登録事業所数

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	福祉課
51事業所	55事業所 55事業所	57事業所	59事業所	61事業所		
令和6年度の取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が地域社会から孤立することを未然に防止するとともに、町内の地域資源を活用し、行政・地域・企業が連携して高齢者を見守り、支援する体制をネットワーク化するため、連絡会を開催した。 安全・安心な在宅生活の実現や福祉の増進を図り、利用者には日常から緊急時の対応について考える機会とするため、配食サービス事業や救急医療情報キット配布事業・救急連絡カード配布事業を実施した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 吉田町高齢者見守りネットワーク事業について、協力事業所を3件増加したことで、見守り体制を強化することができた。 見守り方法の改善等により見守り体制強化を図っていく。 					

【分野(7) 障害者福祉】主な成果指標

指標No.77 障害者自立支援施設の適切な運営

現状値	目標値(上段) / 実績値(下段)				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	福祉課
100%	100%	100%	100%	100%		
	100%					
令和6年度の取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅の障害者等に地域共生社会の実現の場を提供し、障害者福祉の増進を図るため、吉田町総合障害者自立支援施設(あつまりーナ)の管理について、「社会福祉法人牧ノ原やまばと学園」を指定管理者に選定し、維持管理を委託した。 ・障害者自立支援施設運営委員会にて事業計画を確認し、今後の運営等について検討することで円滑な事業運営につなげた。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人が、あつまりーナの指定管理者として管理・運営したことにより、障害者に対し充実したサービスを提供するとともに、障害者等の自立及び社会参加の促進を図ることができた。 ・令和7年度末に現行の指定管理期間が終了することから、望ましい施設の在り方について改めて検討していく。 					

指標No.78 障害福祉サービスを必要とする人へのサービス提供率

現状値	目標値(上段) / 実績値(下段)				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	福祉課
100%	100%	100%	100%	100%		
	100%					
令和6年度の取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児が児童発達支援や放課後等デイサービスを利用したことにより、適切な療育と発達支援につなげた。 ・障害者が自立した日常生活を送ることができ、福祉の推進を図るため、障害の特性に応じた支援(手話通訳者・要約筆記者派遣等)や障害を補うための移動支援や日中一時支援、紙おむつやストーマ装具等の日常生活用具の給付を実施した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者(児)の特性に応じた個別支援計画のもと福祉サービスを支給決定することで、適切な支援を提供することができた。 ・引き続き、吉田町障害者(児)福祉推進委員会の各部会を開催し、地域課題の抽出をはじめ地域の支援者との連携体制の構築を図っていく。 					

指標No.79 福祉施設に対する負担金の支出

現状値	目標値(上段) / 実績値(下段)				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	福祉課
100%	100%	100%	100%	100%		
	100%					
令和6年度の取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児の将来の自立のため、利用者が安心・安全な環境で療育を受けることができるよう、駿遠学園とつくしの家の運営に対して負担金を支出し、施設の安定した運営をサポートした。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・各福祉施設の運営に対して負担金を支出したことにより、適正な支援やサービスを提供できる体制を維持することができた。 ・引き続き、施設の運営に対して負担金を支出していく。 					

第5章：誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくりにおける進捗状況・今後の展望

- ・町内全ての妊婦や子育て世帯が安心して妊娠、出産、子育てができるように各種健康診査や相談、産後ケア等の充実を図っています。妊娠から子育てまで切れ目のない支援体制を継続し、より充実した事業となるべく、国補助金を活用した「1か月児健康診査」の継続実施と、新規事業として令和8年度から「5歳児健康診査」を実施していきます。
- ・親が安心して仕事に従事することができ、また児童に適切な遊びや生活の場を提供することにより、集団生活での遊びや学びから自主性、社会性、創造性を高めていくことを目的に、放課後児童クラブを開所しています。自彊小学校の高学年児童は学校から離れた施設を利用しており、児童が施設まで移動する際の安全確保のため、小学校の近くでのクラブ実施を検討していきます。
- ・高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画を策定し、その指針に則った事業の推進を実施しています。高齢者が地域社会から孤立してしまうことを未然に防止するとともに、見守り支援を強化していくことにより、安全・安心な在宅生活の実現、福祉の増進を図ってきます。今後は、令和9年度からの計画期間となる「第11次高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画」の策定に向け、関係機関と協議を進めていきます。また、行政と地域がともに取り組んでいく体制を構築するため、ボランティア参加による多彩な生き方について周知し、ボランティア確保を継続的に実施していきます。
- ・「こども発達支援事業所すみれ」は、日常生活の基本的な動作指導や集団生活への適応訓練等、児童発達支援の障害者福祉サービスを提供しています。既存のサービスに加え、相談機能や保育所の巡回訪問機能を備えた地域の中核的役割を担う「児童発達支援センター」として専門的なきめ細やかな支援につなげていくよう整備を進めていきます。

◆ 第6章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり

一人一人の個性と発達段階に応じたきめ細かな教育を推進し、また、生涯にわたり学び、スポーツに親しめる環境を創出するとともに、地域に根付いた伝統行事や文化資源を保存・継承し、発展させる機会を創出することで、次代を担う心豊かな人を育むまちを目指します。

【分野(1) 幼児教育】主な成果指標

指標No.80 幼児教育カリキュラムに基づく幼児教育の実施率
(実施園／町内の幼稚園・保育園数)

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
100%	100%	100%	100%	100%	A	学校教育課
	100%					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育カリキュラムとスタートカリキュラムに基づいた教育の実践と検証を行うことにより、幼児教育の充実を図り、吉田町教育大綱における切れ目のない効果的な「つながりのある教育」を推進した。 ・相互の交流及び連携を深め、幼保小の教職員等が幼児教育の充実に向けて協議する場として、吉田町幼児教育カリキュラム実施委員会を開催した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を招聘し、適切なアドバイスをいただきながら幼児教育カリキュラム及びスタートカリキュラムに基づく教育を実践することにより、幼児教育の充実を図ることができた。 ・幼児期から小学校入学までの段階に応じた、新たなカリキュラムの作成を検討していく。 					

【分野(2) 学校教育】主な成果指標

指標No.81 児童生徒1人1台端末の稼働率

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
100%	100%	100%	100%	100%	A	学校教育課
	100%					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の授業の円滑な進行及び充実に寄与するため、小中学校に学習用ソフトウェアを導入し、これを熟知する支援員を派遣した。 ・良好な学校環境の中で児童が生活できるようにするため、小中学校の施設や設備等を修繕し、教育環境の充実を図った。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の端末のほか、学校の施設や設備等の教育環境の充実が図られ、良好な学校環境の中で職員や児童が活動することができた。 ・引き続き、国が推進しているGIGAスクール構想に基づき小中学校児童生徒への1人1台端末貸与を維持していく。 					

指標No.82 全国学力・学習状況調査の県平均正答率以上の科目数の割合

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	C	学校教育課
小学校 0% 中学校 0%	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%		
	小学校 0% 中学校 50%					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解教育、英語教育の推進を図るため、ALTを各学校1名配置した。 ・学校図書館の利活用の充実を図るため、学校司書を各校1名配置した。 ・課題解決する力を段階的に学ぶことができるよう、総合的な学習の時間（吉田探究）において、「自分の住む地域」「吉田町と自分の生き方・キャリア教育」等のテーマを設け、探究的な見方・考え方を働かせる授業を実施した。 ・ICTを活用し、自ら主体的に学びに向かう力を育成しようと継続して取り組む中で、中学生の国語において県平均を上回ることができた。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGA スクール構想が学校現場に定着してきたところであり、今後は授業の質を高めていくことが課題である。 ・文部科学省が示している、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」を授業で実践するよう指導していく必要がある。 ・「深い学び」を授業で実践するための教職員研修を通じて、端末を活用しながら教科の内容に踏み込んだ授業を実践するよう指導していく。 					

指標No.83 児童生徒の健康診断の受診割合

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	B	学校教育課
86.8%	100% 89.0%	100%	100%	100%		
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・学校医及び学校歯科医による児童生徒の健康診断、また、業務委託による各種検査を実施した。（各種検査…検尿、心電図、生活習慣病・貧血検査、結核検査） ・教職員に対し、生活習慣病健診及び指定年齢健診を実施した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒及び教職員に対し健康診断等を行うことで、疾患の早期発見や治療につなげることができ、学校における生活面において健康の維持及び安全の確保に寄与することができた。 ・児童生徒が安全安心な学校生活を送ることができるよう、国、県、町健康づくり課の施策や動向に目を配りながら、適切な健康管理が行えるよう事業を行っていく。 					

【分野 (3) 地域教育】主な成果指標

指標No.84 地域教育推進事業に携わるボランティア数

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	生涯学習課
147人/年	170人/年	170人/年	170人/年	170人/年		
	172人/年					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 各地区の地域教育推進協議会に補助金を交付して活動を支援するとともに、地域の大人が主体的に地域の子どものために体験活動を企画・運営をすることで、地域で育む体制づくりが推進されボランティアが増加した。 親子で参加する家庭教育学級では、小学生をもつ保護者に対して学習の機会を提供するとともに、保護者同士が交流する場を提供した。 吉田町放課後子ども教室では、地域住民の参画を得て放課後の児童の居場所づくりを推進した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 各団体へ支援や助言を行うことで、子どもを対象とした活動が活発に実施され、地域で子どもを育む活動が推進された。 地域教育の重要性について、イベントや会議等を活用し地域へ周知していく。 					

【分野 (4) 青少年健全育成】主な成果指標

指標No.85 笑顔いっぱい運動スタッフベスト配布枚数（平成16年度からの累計）

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	B ⁺	生涯学習課
1,499枚	1,600枚	1,650枚	1,700枚	1,750枚		
	1,587枚					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 自治会組織を通じた世帯へのチラシ配布や小中学生が製作した啓発ポスターを掲示し、賛同者を募集するとともに、運動の普及に努めた。 青少年の見守りの意識を高めるため、「黄色のベスト」を貸与し、小中学生の登下校の見守りや声掛けを行っていただいた。 笑顔いっぱい運動は人づくり、地域づくりの大きな力となったほか、「地域の青少年は地域で育てる」ことを推進し、青少年の健やかな成長を支援した。 <p>【吉田町笑顔いっぱい運動】 期間：令和6年4月～令和7年3月 新規賛同者数：49人</p>					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 笑顔いっぱい運動事業における賛同者の活動により、スタッフが着用する「黄色のベスト」は安心・安全という認識が広がっており、相乗効果として、声掛けをする側もされる側も、安心できる環境が形成されてきている。 学校・家庭・地域の中に「黄色のベスト」をより定着させるため、地域活動や学校応援団など他事業等でも黄色のベストが活用されるように呼び掛けていく。 					

【分野 (5) 生涯学習】主な成果指標
 指標No.86 生涯学習教室開講教室数

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	C	生涯学習課
120教室/年	120教室/年	120教室/年	125教室/年			
	111教室/年					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の自発的な学習機会の提供と学習意欲の促進を図ることを目的に、年間を通して様々な分野の生涯学習教室を開講した。 ・教室の開講に当たり、広報よしだへの講師募集情報の掲載や受講生からの意見を参考に新たな教室開講に努めた。 <p>【開講実績】 前期, 通年 59 講座／後期 52 講座</p>					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・受講生からの満足度は高い一方で、最少開講人数に達せず開講に至らなかった教室もあったため、開講数の拡大に向けた取組を進めていく。 ・生涯学習社会の構築のため、より多くの方に参加いただけるよう周知を徹底する必要がある。 ・継続して町民の学習機会を提供するため、参加者アンケート等を実施し、学習ニーズの把握に努めていく。 					

指標No.87 学習ホール長寿命化計画の策定

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	C	生涯学習課
0%	0%	0%	0%	100%		
	0%					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・学習ホールの長寿命化を図り、継続的に生涯学習の場を提供できるようにするため、今後の修繕計画の作成支援業務を委託した。 ・利用者への快適な環境を提供するため、空調設備等の修繕やFreeWi-Fiを整備した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化に伴う小規模修繕は行っているが、計画的に大規模な修繕を実施する必要があるため、計画策定に向けて学習ホール他2施設修繕計画作成支援業務委託を実施した。 ・修繕計画作成支援業務委託を実施したことにより、計画策定に向けて大まかな流れをつかむことができた。 ・安全、安心に利用できる施設にすべく、計画策定のための進捗を図っていく。 					

指標No.88 図書館来館者数

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	B	生涯学習課
79,212人/年	120,000人/年	120,000人/年	120,000人/年	120,000人/年		
	85,727人/年					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情に応じた図書館運営を行うために吉田町図書館協議会を開催し、当館の運営状況を共有した上で、他館における図書館サービス事例について委員から貴重な情報を得ることができた。 ・利用者ニーズに応えるため、定期的な蔵書管理を実施した。 ・町公式LINEでの図書館行事の情報発信を積極的に行ったことにより、おはなし会の参加者や雑誌リサイクルの配布冊数増加につながった。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な図書館事業（おはなし会、映画会など）について、対象やプログラム、実施時間を利用者ニーズに沿った形で計画し、継続的参加者の確保につなげることができた。 ・「子ども読書推進計画」の策定により、子育て世代への支援体制をサービスにつなげて展開していく。 					

【分野(6) 芸術文化・文化財】主な成果指標

指標No.89 芸術文化振興事業の参加者数

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	B	生涯学習課
1,499人/年	3,700人/年	3,700人/年	3,700人/年	3,700人/年		
	2,410人/年					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・町民等の感性や創造性を育むとともに、文化の振興と交流を図るため芸術文化振興事業を実施し、文化芸術に触れ、親しむ機会を提供した。 ・子どもたちの豊かな情操の育成と芸術文化愛好の醸成を図るため、日本の伝統芸能の落語及び教育演劇の鑑賞会を開催した。 <p>【実施事業】 吉田町文化祭・文化展、スプリングジャズライブ、小山城お花見茶会、芸術鑑賞</p>					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・出演者や開催校と事前打ち合わせを行ったことで、スムーズな運営に努めた。 ・文化展を中心により多くの住民が芸術文化に親しむことができる機会を提供していく。 					

指標No.90 文化財パトロールの実施

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	B ⁺	生涯学習課
0回/年	4回/年	4回/年	4回/年	4回/年		
	3回/年					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・町内文化財を適切に管理するため、文化財パトロールを実施した。 ・町内文化財の指定・管理の審議を行い文化財行政の発展を図ることを目的に、文化財保護審議会を開催し、古文書調査や他自治体への視察研修を実施した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・町の歴史を辿ることができ、後世に引き継いでいく必要がある町内の指定文化財や埋蔵文化財の保存・保護に努めた。 ・郷土の歴史を知り、引き続き、郷土への愛着と郷土を誇りに思う心を育むため、文化財の保存・保護に努めていく。 					

【分野 (7) スポーツ・レクリエーション】 主な成果指標

指標No.91 総合体育館利用者数

現状値	目標値（上段）／ 実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	B	生涯学習課
49,747人/年	75,000人/年 55,634人/年	75,000人/年	75,000人/年	75,000人/年		
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 吉田町で初めて大相撲秋巡業遠州吉田場所が開催され、大相撲を一目見ようと町内外から3,450人が来場され、総合体育館だけでなく、吉田町のアピールにもつながった。 利用者の安全確保のため、非常通報装置取替修繕や総合体育館東側フェンス修繕を実施した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 町主催の行事計画を把握し、催事利用を計画している町内外の団体、体育協会各部との事前調整を行いスムーズな体育館利用の運営に努めた。 施設予約をオンライン化することにより、利用者の利便性向上を図っていく。 					

指標No.92 各種大会、スポーツ教室等への参加人数

現状値	目標値（上段）／ 実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	B	生涯学習課
1,029人/年	2,600人/年 1,934人/年	2,600人/年	2,600人/年	2,600人/年		
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> 町民のスポーツ実施率向上に向けて、スポーツ推進委員と常葉大学の協力を得て教室や大会の安全な開催方法等、今後の具体的な取組について検討した。 参加者の日頃の運動不足の解消、体力低下の防止、ストレス解消を図るとともに、子どもの健全育成に寄与し運動習慣の定着を図るため、適度な運動の場を創出した。 <p>【実施事業】</p> ソフトバレーボール大会、ダーツ大会、町駅伝大会、町長旗ソフトボール大会、町長杯グラウンドゴルフ大会、なぎなた体験会、ソフトランニング教室、健康体づくり教室、シニアフィットネス教室、ノルディックウォーク教室（新規事業） 等					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 町公式LINEや町ホームページ等にて情報発信を行い、多くの町民に周知を図りつつ、吉田町駅伝の開催、新規ノルディックウォーク教室の開催等により参加者数を増加させた。 しずおか中部連携中枢都市圏地域課題解決事業における常葉大学から得たノウハウを、参加者増加に向けた取組へ反映していく。 					

第6章：次代を担う心豊かな人を育むまちづくりにおける 進捗状況・今後の展望

- 文部科学省の取組である「GIGA スクール構想」に基づき、児童生徒1人につき1台の学習用端末を整備し、情報活用能力の育成について重点的に取り組んでいます。デジタル学習基盤を活用した取組を通して、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を教職員が学び合うことで、資質や能力向上につなげ、児童生徒の学力向上を目指していきます。
- 地域の方が住み慣れた地域でいつまでも心身共に健全で豊かな生活を送ることができるよう、65歳以上の方を対象に「シニアフィットネス教室」を開催しています。また、「ノルディックウォーク教室」を新設したことで、健康長寿の伸身と生涯学習スポーツの推進を加速し、今度も、事業内容の更なる充実を図っていきます。

◆ 第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり

健全で自立した持続可能な行財政運営を推進し、また、デジタル技術の活用により住民の暮らしの快適性・利便性向上と事務手続の効率化・高度化を推進するとともに、住民がまちづくりに積極的に参加できる環境づくりを推進することで、行政と住民が一体となって取り組むまちを目指します。

【分野(1) 行財政】主な成果指標

指標No.93 吉田町まちづくりステップアップ行政評価による点検実施率

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	企画課
100%	100%	100%	100%	100%		
令和6年度の取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・吉田町まちづくりステップアップシートを用いて、実施計画事業ごとの事務事業評価及びその内容に基づく実施計画を作成した。 ・PDCA サイクルの考え方を取り入れた「吉田町まちづくりステップアップ行政評価」の運用により、実績の把握、事業の評価を一連の流れの中で行い、評価結果に基づく実施計画の内容を基礎資料とし、令和7年度の当初予算編成につなげた。 <p>【実施計画の事業数】 207事業、広域施設組合は9事業（「A（Action）」シートを応用したシートを作成）</p>					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・「吉田町まちづくりステップアップ行政評価」を継続して実施し、「総合計画」、「予算」及び「行政評価」の3つを連動させながら点検を実施することができた。 ・引き続き、第6次吉田町総合計画前期基本計画及び第3期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理を実施するため、各課（局）へのシート作成を依頼し、吉田町行財政構造改革推進本部会議において審議していく。 					

指標No.94 新規採用職員の確保

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	総務課
7人/年	5人/年	5人/年	5人/年	5人/年		
令和6年度の取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な人材を確保しつつ、行政課題の変化に対応できる効率的な組織形成を目指し、職員採用試験を実施した。（年2回） ・専門的知識を備えた確かな助言と指導ができる担当職員の育成のため、人事院勧告等給与構造の変革に迅速に対応するための情報収集、また、年末調整を円滑に行うための研修会等に参加した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・採用試験では新たに自治体経験者枠を設け、即戦力となる人材の確保を目指したことで、採用につながった。 ・7月の試験以外にも、高校生も受験できるよう秋以降にも試験を実施し、新たな人材確保を目指していく。 					

指標No.95 実質公債費比率

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
10.5%	18% 未満 10.3%	18% 未満	18% 未満	18% 未満	A	財政管理課
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会計における起債を通常分と津波防災対策分とで区分し、通常分については、平成16年度に設定した「当該年度の借入額は当該年度の元金償還額を上回らないこと。」の原則を遵守し、通常分の借入金の残高が減少した。 ・津波防災対策分の起債についても、通常分と合算し、後年度負担額を算出した上で実質公債費比率や将来負担比率のシミュレーションを行い、財政の健全性を保つように努めた。 ・財政指標の作成及び分析を行い、現在の財政状況を把握するとともに、適正な予算編成を行い、計画的かつ効率的な予算執行ができた。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・地方債管理原則に基づき借入を行うことにより借入金の残高を減少させることができた。 ・引き続き、地方債管理原則に基づき借入を行うとともに、借入先からの償還表に基づき償還をすることにより、地方債残高の減少を図っていく。 					

指標No.96 証明書のコンビニ交付の利用率

現状値	目標値（上段）／実績値（下段）				目標値に対する評価	担当課
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
6.8%	50.0% 26.9%	50.0%	50.0%	50.0%	B	町民課
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・証明書のコンビニ交付サービスは、窓口交付より手数料を減額していることにより利用者は増加しており、前年度と比較して1,929件増加した。 ・地域住民の利便性を高めるため、マイナンバーカード申請用補助端末を使用した無料での写真撮影及びマイナンバーカード申請補助のほか、引き続き毎週水曜日に時間外対応を実施し、マイナンバーカード新規交付以外に令和7年1月からは電子証明書の更新も対応可能とした。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・各種証明書の発行について、窓口交付時においてコンビニ交付の活用を呼びかけ、利用率向上に努めた。 ・マイナンバーカード関連事務（電子証明書の更新等）の増加が見込まれるため、適切な対応ができるように環境を整えながら普及促進を図っていく。 					

【分野(2) デジタル化】主な成果指標

指標No.97 行政手続きなどに係るオンライン利用件数

現状値	目標値(上段) / 実績値(下段)				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	総務課
38,018件/年	40,000件/年	41,000件/年	42,000件/年	43,000件/年		
	45,454件/年					
令和6年度の取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・事務処理及び行政サービスの効率化を図るため、業務用パソコン及び総合行政情報システム等を借り上げ適正な配備を実施した。 ・「吉田町DX推進計画」及び同計画のアクションプランに基づく町の施策について、各課と連携して推進することができた。 ・書かない窓口に係る申請書作成支援システムのトライアルを実施し、実際の事務の体験を通じて実装に向けた業務のイメージを得ることができた。 ・令和7年度末までの標準化移行完了に向けて、自治体情報システム標準化移行業務を委託した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・「吉田町DX推進計画」及び同計画のアクションプランに基づき、町のデジタル化政策を推進するとともに、吉田町人材育成基本方針に基づき、デジタル人材の育成・確保について検討していく。 					

【分野(3) 情報公開】主な成果指標

指標No.98 個人情報の流出・紛失事故件数

現状値	目標値(上段) / 実績値(下段)				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	総務課
0件/年	0件/年	0件/年	0件/年	0件/年		
	0件/年					
令和6年度の取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・吉田町の情報公開制度及び個人情報保護法に基づく個人情報保護制度を適正に運用した。 ・行政運営における公正の確保と透明性の向上を図るため、行政手続個票を更新した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・職員への情報に関する管理を徹底させるとともに、公文書や個人情報の開示状況を広報よしだに掲載し、住民への情報提供を行った。 ・引き続き、吉田町情報公開条例及び個人情報保護法に基づき、適正に事業を進めていく。 					

【分野 (4) 広報・広聴】主な成果指標

指標No.99 ソーシャルネットワークサービス (SNS) フォロワー数

現状値	目標値 (上段) / 実績値 (下段)				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	企画課
8,054件	11,375件	13,250件	15,125件	17,000件		
	12,576件					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS を用いて動画による情報発信を積極的に行っていくとともに、若年世帯を意識した町のイベントや話題を掲載することで、フォロワー数増加につなげた。 ・ 町公式 LINE や町公式 Instagram のほか、広報よしだの発行や町ホームページへの記事投稿を通じて、町の出来事や行政の様々な情報を積極的に提供した。 ・ 各課が投稿する内容の統一を図るため、「吉田町 LINE 公式アカウント配信ガイドライン」を作成した。 					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町公式 LINE や町公式 Instagram を活用し、町民に対してより迅速かつきめ細やかに情報を発信することができた。 ・ SNS を活用した情報発信を積極的に行っていくとともに、町内外に分かりやすい情報をより適切に発信していくため、町ホームページのシステムやデザインのリニューアルを検討していく。 					

指標No.100 お問い合わせフォームの対応率

現状値	目標値 (上段) / 実績値 (下段)				目標値に対する評価	担当課
令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A	総務課
100%	100%	100%	100%	100%		
	100%					
令和6年度の 取組内容 ・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ お問い合わせフォームのほか、どこでも訪問します DAY やひらめき&思いつきレター等、様々な方法によって町民の意見を伺い、町政に対する町民のニーズを的確に把握した。 ・ 満足度向上に努めるため、町民からの要望に迅速に対応した。 <p>【対応実績】 お問い合わせフォーム受信・対応件数 169 件</p>					
評価の背景 今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ お問い合わせフォーム等で寄せられた町民の意見や多様なニーズに対し、迅速かつ適切な情報提供や改善等の対応ができた。 ・ 引き続き、町政に対するニーズの把握に努めるとともに、時代に沿った新たな広聴システムの構築と運用を行っていく。 					

第7章：行政と住民が一体となって取り組むまちづくりにおける進捗状況・今後の展望

- ・ 町の様々な事務手続の効率化や高度化を推進するために「吉田町 DX 推進計画」に基づき、総合行政情報システム等の適正な配備や書かない窓口に係る申請書作成支援システムのトライアルを実施し、町のデジタル化政策を推進しています。「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」に基づく自治体における主要な 20 業務の標準化に取り組むとともに、キャッシュレス決済の推進や公共施設の確認及び予約のオンライン化を可能とすることにより、町民の利便性向上を図っていきます。